

NTT東日本関東病院

連携ガイドブック

(医療従事者向け)

2026 Ver.



人と、地域と、“つながる医療”





全館案内

作業案内

受付
入口

11
12

池田山
IKEDAYAMA
garden cafe

入館料は
無料
手洗いの水
を必ず使ってください

目 次

施設紹介	1
連携部門のご紹介	2
診療予約	3
医療機器の共同利用	4
当院の最新治療	5~6
東京都医療連携手帳／がんゲノム医療	7
外来心臓リハビリテーション	8
五反田膀胱癌連携プロジェクト	9
慢性腎臓病対策～病診連携～	10
各支援プログラム	11~12
産科のご案内	13~14
各病棟のご案内	15~16
病室のご案内	17
診療科のご紹介	18~26
消化管内科／肝胆膵内科／循環器内科／心臓血管外科	
糖尿病・内分泌内科／高血圧・腎臓内科／呼吸器内科／呼吸器外科	
脳神経内科／脳神経外科／外科／泌尿器科	
整形外科／スポーツ整形外科／ペインクリニック科／リハビリテーション科	
乳腺外科／形成外科／産婦人科／小児科	
リウマチ膠原病科／皮膚科／耳鼻咽喉科・頭頸部外科／眼科	
腫瘍内科／血液内科／精神神経科／心療内科／緩和ケア科	
救急科／総合内科／国際診療科／感染症内科	
歯科口腔外科／麻酔科／放射線科／集中治療科／病理診断科	
センターのご紹介	27~28
脳卒中センター／ガンマナイフセンター／人工関節センター	
脊椎内視鏡センター／骨盤臓器脱センター／予防医学センター／手外科センター	
人間ドックのご案内	29~30
当院ホームページのご案内／アクセス	31~32



施 設 名	NTT東日本 関東病院		
所 在 地	〒141-8625 東京都品川区東五反田5-9-22		
電 話（代表）	03-3448-6111	FAX（代表）	03-3448-6617
電 話（医療連携室）	03-3448-6192	FAX（医療連携室）	03-3448-6071
許 可 病 床	594床（一般病棟544床 精神病棟50床）		
診 療 科・セ ン ター	救急科	総合内科	国際診療科
	循環器内科	心臓血管外科	呼吸器内科
	呼吸器外科	脳神経内科	脳神経外科
	高血圧・腎臓内科	消化管内科	肝胆膵内科
	糖尿病・内分泌内科	血液内科	リウマチ膠原病科
	腫瘍内科	感染症内科	外科
	整形外科	スポーツ整形外科	乳腺外科
	形成外科	歯科口腔外科	皮膚科
	泌尿器科	産婦人科	小児科
	眼科	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	精神神経科
	心療内科	放射線科	麻酔科
	集中治療科	ペインクリニック科	リハビリテーション科
	緩和ケア科	病理診断科	脳卒中センター
	ガンマナイフセンター	骨盤臓器脱センター	ロボット手術センター
	人工関節センター	脊椎内視鏡センター	手外科センター
	予防医学センター	血液浄化センター	化学療法センター
	救急センター	がん相談支援センター	患者サポートセンター
主 な 施 設 指 定 等			
地域医療支援病院		地域がん診療連携拠点病院	
東京都指定二次救急医療機関		災害拠点病院	
がんゲノム医療連携病院	難病医療協力病院	東京都エイズ診療拠点病院	
D P C 特定病院群		基幹型臨床研修病院	
日本医療機能評価機構認定		卒後臨床研修評価認定	
国際病院評価機構（J C I）認定			
J M I P（外国人患者受け入れ医療機関認証制度）認証			
人間ドック・健診施設機能評価認定			
輸血機能評価（I & A）認定		ISO15189認定	

下線：今年度追加箇所



事務長

田中 大輔

副院長

赤羽 敦也

副院長

渋谷 祐子

院長

大江 隆史

副院長

小松 孝美

看護部長

吉川 聖

連携部門のご紹介

医療連携室

総合相談室

がん相談
支援センター



1 医療連携室

地域の医療機関と当院をつなぐパイプ役・コーディネーター役として、様々な業務に対応しております。

〔主な活動〕

- ・地域の医療機関からの受診調整、問合せ、ご相談などの対応
- ・画像検査（共同利用）の予約受付、問合せの対応
- ・セカンドオピニオンの調整
- ・逆紹介の推進（かかりつけ医の検索、患者対応 など）
- ・地域の医療機関、医師会などへのご訪問、連絡調整
- ・地域連携パス運用の支援
- ・医療連携協力医療機関制度（登録医）の管理
- ・医療連携セミナー、関連イベントの開催
- ・広報活動

〔スタッフ〕

吉田 幸成（課長、事務、渉外担当）
大久保 哲（事務、渉外担当）
松島 久美子（看護師、患者トリアージ担当）
江口 美奈子（MSW、窓口担当）
江崎 裕太（MSW、窓口担当）
大森 記世実（事務、窓口担当）
仲山 かおり（事務、窓口担当）
大瀧 奈都子（事務、窓口担当）
石井 歩美（事務）
大橋 栞（事務）

〔お問い合わせ〕

TEL：03-3448-6192 ／ FAX：03-3448-6071

〔電話受付時間：平日 8:30~17:00〕

2 総合相談室

病気に伴う療養生活、家族、仕事、経済的な相談や福祉制度、施設利用などの相談を専門のソーシャルワーカーや看護師がお受けし、相談支援を行うとともに、地域との連携向上への取り組みも行っています。

〔主な相談支援・活動〕

- ・退院支援
- ・外来患者の在宅療養支援
- ・経済的相談
- ・社会復帰・就労支援
- ・支援機関や制度の情報提供
- ・地域との退院前カンファレンス・退院前訪問
- ・地域関係機関との連携活動

〔構成職種〕

医師、看護師、ソーシャルワーカー、クラーク

〔お問い合わせ〕

TEL：03-3448-6213

〔受付時間：平日 9:00~17:00〕

3 がん相談支援センター

当院は地域がん診療連携拠点病院の指定を受けており、がんに関する相談対応を行う「がん相談支援センター」を設置しています。当院以外の患者さんやご家族、市民の方、地域医療機関などからの相談にも対応いたします。

〔主な活動〕

- ・病気や治療、療養に関する一般的な情報の提供
- ・がんにかかったことによる不安や悩みなどへの対応
- ・療養生活をするうえでの様々な心配への相談対応
- ・在宅療養や転院、緩和ケアについての情報提供や調整
- ・医療費などの経済的な心配や、仕事に関する悩み、制度活用のための相談対応
- ・個別相談のほか、がん患者さんやご家族のための患者会の運営や、社会保険労務士と一緒に行うお仕事相談会の開催

〔構成職種〕

医師、看護師、ソーシャルワーカー、クラーク

〔お問い合わせ〕

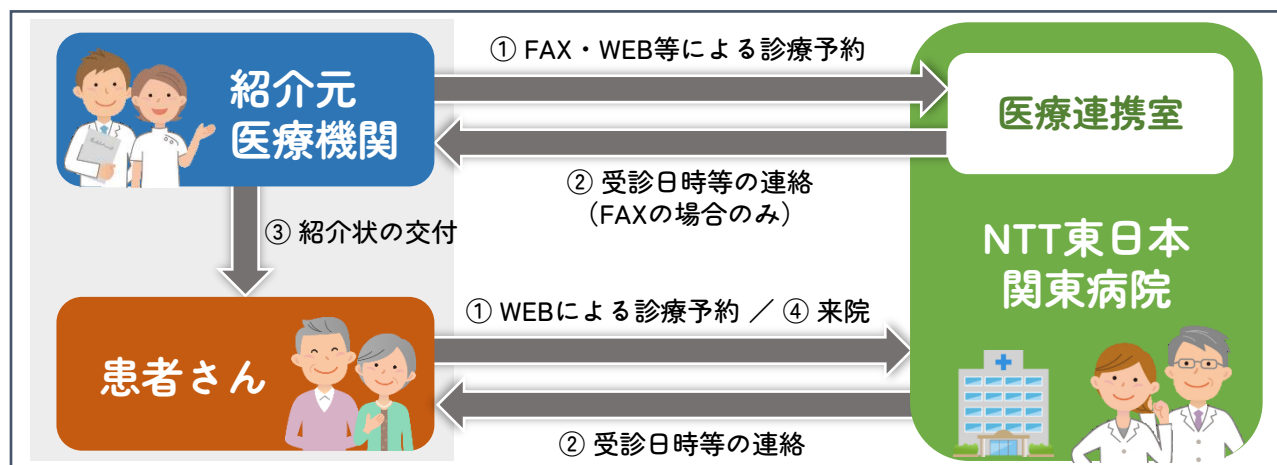
TEL：03-3448-6280

〔受付時間：平日 9:00~17:00〕

※対面相談希望の方は、事前に電話で予約をお取りください。

診療予約

詳細や診療申込書
紹介状などはHPへ



各種連絡先

医療連携室 TEL：03-3448-6192 / FAX：03-3448-6071

〔電話受付時間：平日 8:30~17:00〕

※医療機関専用の窓口ですので、患者さんご自身がご予約をお取りする場合は、代表番号におかけいただきますよう、ご案内をお願いいたします。

救急センター	TEL：03-3448-6000	〔平日 17:00~8:30 / 休診日24時間〕
脳卒中ホットライン	TEL：03-3448-6599	〔24時間〕
腹痛ホットライン	TEL：03-3448-6012	〔平日 9:00~20:00〕
循環器ホットライン	TEL：03-3448-6292	〔24時間〕
大動脈ホットライン	TEL：03-6721-6308	〔24時間〕

おすすめ

WEBから初診予約ができます！

当院の登録医から...

患者さんから...



..... WEB紹介予約システム(e連携)をご利用ください

24時間365日、ご予約可能なWEB上のシステムです。専用予約枠を設けているため比較的予約が取りやすく、専門領域ごとの予約も可能です。

注意 点

- ・当院の登録医のみご利用いただけます。
- ・一部の診療科は対象外です。
- ・初診患者さんのご予約に限ります。
- ・医師のご指定はできません。

オリジナル
マグネット
配布中！

NTT 東日本 関東病院
TEL:03-3448-6192 FAX:03-3448-6071
(医療連携室直線) 平日 8:30-17:00
WEB 紹介予約システム (e 連携)
●● クリニック
ID ログイン画面
パスワード ご利用のIDにちなり
QRコード



WEB初診予約申し込みフォームをご利用ください

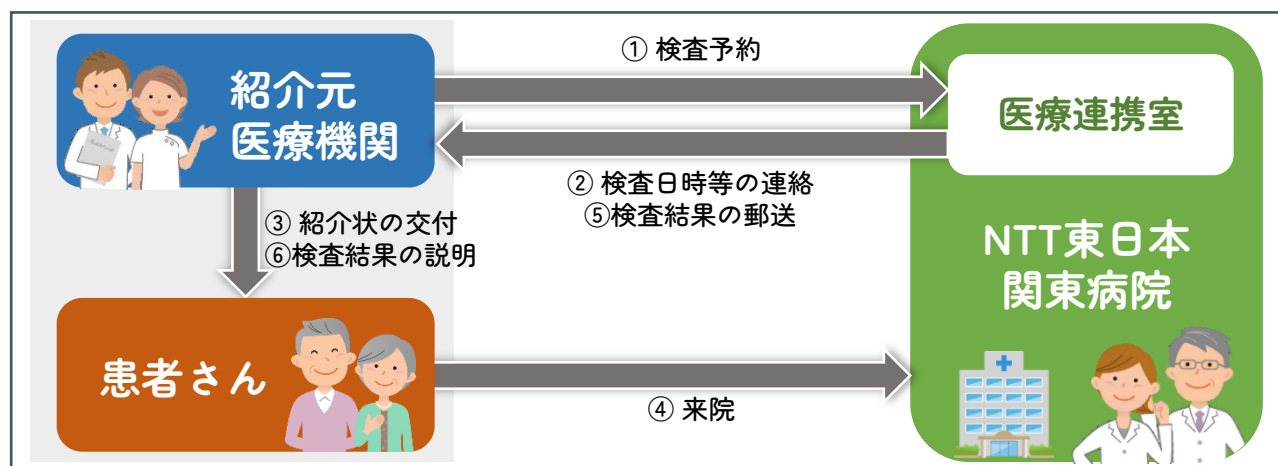
24時間365日、受診予約の申し込みが可能です。後日、当院からSMSにてご連絡いたします。

注意 点

- ・お申し込みされた時点では予約確定ではございません。
- ・一部の診療科は対象外です。
- ・初診患者さんのご予約に限ります。
- ・受診希望日は、3日後以降より選択いただけます。

NTT 東日本 関東病院
WEB 初診予約
のお申し込み
↓↓ はこちら
QRコード

紹介状等に貼れる
患者さん案内の
ラベルシール配布中！



1 検査の種類

CTおよびMR

頭頸部、脊椎・脊髄、胸部・腹部
骨盤部、四肢・関節疾患など

核医学（アイソトープ、RI）

※FDG-PETなどのPET検査は、
設備がなく対応できません

骨塩定量測定

DEXA（dual-energy
X-ray absorptiometry）法

各種生理検査

ホルター心電図・脳波検査
エコー（腹部・表在・頸動脈・心）

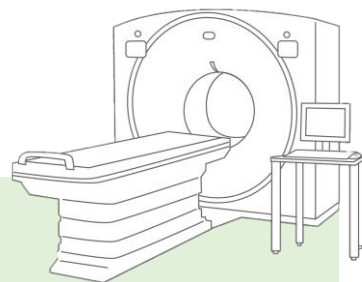
2 検査結果のお渡し方法

CTおよびMR検査、核医学検査

放射線診断専門医が画像診断の上で報告書を作成し、
当院検査日から **1週間以内** に郵送いたします。

（到着までにお日にちをいただく場合がございます。お急ぎの場合は、FAXで写しをお送りいたします。）

検査画像は、PCで閲覧可能な画像ディスクでご提供いたします。



骨塩定量測定検査

検査当日に紙に印刷し、患者さんにお持ち帰りいただきます。

各種生理検査

担当医などが判読の上で報告書を作成いたします。

検査画像は、PCで閲覧可能な画像ディスクでご提供いたします。

3 注意点

- ・当院では患者さんに検査結果を説明いたしませんので、ご依頼の先生から患者さんにご説明ください。
- ・予約・変更・キャンセルは、貴院よりご連絡をお願いいたします。

手外科センター

2026年4月 開設！

詳細は
HPへ



手は複雑で繊細な構造をもつ特殊な器官です。3名の専門医が手の外傷・疾患の診療を行います

※写真：森崎 裕主任医長・大江 隆史院長・高本 康史医長

■ 手外科センターの特徴

① 手外科専門医による専門的診断・治療

日本手外科学会 手外科専門医・指導医が、機能回復と痛みの軽減、そして整容を総合的に考慮した治療法を提供します。

② 低侵襲・最先端治療の提供

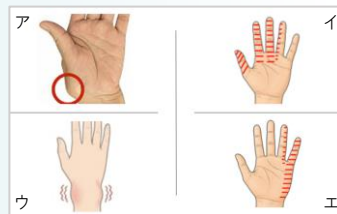
内視鏡手術、指の再接着、神経・血管修復、組織再建等に対応しています。

③ 日帰り手術～短期入院まで柔軟に選択可能

患者さんの生活スタイルに合わせ、最適な治療プランを提案します。

④ 手術後のリハビリまで一体化したチーム医療

専門のリハビリスタッフと連携し、術後の機能回復・復職・家事・趣味への早期復帰をサポートします。



■ 対象となる主な疾患

ア：母指CM関節症 イ：手根管症候群 ウ：肘部管症候群 エ：橈骨遠位端骨折

脊椎内視鏡センター

詳細は
HPへ



より低侵襲で安全な『脊椎疾患』の専門的治療を提供いたします

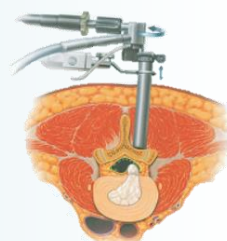
■ 脊椎内視鏡手術の特徴

<主な利点>

- 低侵襲手術：切開が小さく、周囲組織の損傷を最小限に抑えます
- 出血や感染のリスク低減：体への負担を軽減し、安全性を向上
- 神経症状の改善：精密な手術により、症状の改善が期待できます
- 早期退院・早期社会復帰：術後の回復が早く、日常生活への復帰がスムーズ

■ 対象となる疾患と術式

- * 頸椎疾患 頸椎性脊髄症、頸部神経根症
- * 腰椎疾患 腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、腰椎すべり症



■ 紹介方法

従来どおり、脊椎疾患の診察、検査、保存治療の希望の場合は整形外科への予約でも構いませんが、手術を含めた低侵襲治療まで考えている場合は、脊椎内視鏡センターへ予約することをお勧めします。

骨盤臓器脱センター

詳細は
HPへ



女性における膀胱瘤、直腸瘤、子宮脱などの『骨盤臓器脱』の治療を行います

■ 骨盤臓器脱（POP）とは：膀胱瘤、子宮脱、直腸瘤を含む骨盤臓器脱の総称

女性の骨盤の底部には子宮、膀胱、直腸などの臓器を支えている筋肉やじん帯があり、腹圧で内臓が骨盤外に出ないように支えています。この筋肉やじん帯が、出産や肥満、加齢などで緩み、子宮、膀胱、直腸などが膣に下がってくると、これらの臓器が膣の入り口から外に脱出してきます。

■ 治療対象

骨盤臓器脱と診断された方のうち、中等度から重症（ステージⅢ～Ⅳ）の方に、**腹腔鏡下**または**ロボット支援仙骨脛固定術**を行います。リングペッサリーなどの保存的治療が奏功しない骨盤臓器脱の患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひご紹介お願い申し上げます。

■ 紹介方法

紹介先は「婦人科」「泌尿器科」どちらでも構いません。骨盤臓器脱センターで最適な治療を検討させていただきます。



泌尿器科
井上医長

産婦人科
塚崎部長



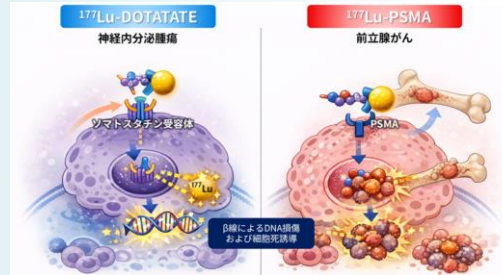
神経内分泌腫瘍に対するペプチド受容体放射線核種治療（PRRT）に加え、前立腺がんに対するPSMA標的放射線核種治療を導入し、国内でも数少ない放射線核種治療を包括的に提供できる医療機関として診療体制を整えています

■ 概要

患者さんは放射線管理区域に指定された「特別措置病室」に入室します。治療当日、放射性医薬品は厳格な管理のもとで点滴または静注により投与されます。投与自体は短時間で終了しますが、体内から放射線が放出される期間は、数日間の隔離管理が必要となります。

■ 紹介ならびに問合せ

「腫瘍内科」まで
お願いいたします。



子宮動脈塞栓術

詳細は
こちら

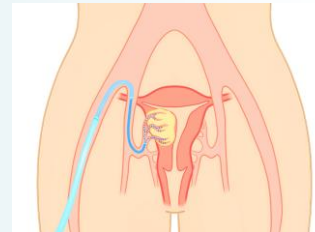
「子宮は温存したい」「できるだけ体に負担の少ない方法を選びたい」と希望する女性の声に

■ 概要

UAE（Uterine Artery Embolization）は、子宮筋腫に栄養を送っている子宮動脈をカテーテルを用いて塞栓し、筋腫を縮小させる治療です。塞栓には、微細な粒子状の塞栓物質（エンボスフィア®）を用い、X線透視下に両側の子宮動脈に注入します。これにより、筋腫への血流が遮断され梗塞を生じ、数か月かけて縮小していきます。欧米では1990年代から広く導入されており、本邦でも2014年に保険収載されました。

■ 適した患者さん

- ・過多月経、貧血、腹部圧迫症状など症候性子宮筋腫がある方
- ・外科手術を回避したい、または子宮温存を希望される方
- ・子宮筋腫に対する他の治療（ホルモン療法など）で効果不十分な場合
- ・既往や基礎疾患により外科手術や全身麻酔のリスクが高い方



※ 紹介先は「産婦人科」まで。放射線科と連携し、外来から入院まで一連の診療にあたっています。

パルスフィールドアブレーション

詳細は
こちら

心房細動治療：非熱性エネルギーによる革新的アブレーションにより安全性向上

■ 概要

PFAとは、これまでの高周波焼灼や冷凍焼灼などの熱性焼灼による心筋焼灼とはまったく異なる非熱性のエネルギーを用いたアブレーションです。パルス状に発せられた高電圧により、細胞膜に不可逆的電気穿孔を発生させて細胞死を誘導し治療を行います。

■ 周辺組織への安全性

PFAの優位性の一つは心筋特異性が高いことです。不可逆的電気穿孔を生じる閾値は、都合の良いことに心筋細胞では非常に低く、出力するエネルギーを調整することで、神経や食道など周辺臓器に影響すること無く心筋細胞のみを傷害することが可能です。

■ 適応判断に迷う症例でも、まずはお気軽にご相談を



東京都医療連携手帳

詳細は
HPへ

当院は、地域医療機関との連携協力体制をより充実させるべく、「東京都医療連携手帳（がん地域連携クリティカルパス）」を活用しており、当院は現在「胃がん」「大腸がん」「前立腺がん」の手帳を運用しています。

手帳を使うメリット

■ 計画に沿った適切な診療の提供

- ・診察予定表により、患者さんが「いつ」「どこで」「どんな」検査や診察を受ければよいかが分かる。
- ・かかりつけ医と当院で患者さんの診療情報を共有できるため、より適切な診療が可能になる。

■ 2人の主治医がいる安心感

- ・かかりつけ医と当院の医師の2人が患者さんの主治医をつとめることで、患者さんは安心して療養することができる。

東京都医療連携手帳
による情報の共有かかりつけ医
(近所のクリニックなど)日頃の診療を
担当

NTT東日本関東病院

年に何回かの
専門的診療を
担当

がんゲノム医療

詳細は
HPへ

がん細胞にはその特徴を決める複数の遺伝子の変化があると考えられています。その遺伝子変化は個体間で異なるため、その情報を調べ診断や個々にあった治療法を行う医療が「がんゲノム医療」です。方法としては、がん細胞（と正常細胞）からDNAを抽出し、代表的ながんに関わる遺伝子の配列変化を調べます。その検査に用いるのがパネル検査であり、現在いくつかの有用なパネルが報告、運用されています。

当院は東京大学医学部附属病院（以下 東京大学病院）と協力し「がんゲノム医療連携病院」として「がんゲノム医療」を実施しています。5種類のがん遺伝子パネルのいずれか一つを用いて解析を行います。この解析を行うことによってがんの特徴を調べ、遺伝学的な診断やその特徴に対して創薬されている治療薬がないかを調べる個別化医療です。

適応基準

- ☐ 悪性腫瘍と診断されている（癌腫、肉腫いずれも含むが血液腫瘍を除く）、18歳以上の方
- ☐ 治癒切除不能 または 再発により、標準治療による根治が難しいと考えられる方
- ☐ 標準治療がない、標準治療が終了している、もしくは終了が見込まれる方
- ☐ 全身の状態が比較的良好である方
- ☐ がんを含む病理標本があり、採血も可能な方
- ☐ 同意が得られている方

【主治医の先生へ】

適応基準の詳細は、当院ホームページまたは右上の二次元コードより、「がんゲノム検査希望の患者さんを紹介いただく主治医の先生へ」を参照ください。

外来心臓リハビリテーション

心臓リハビリテーションとは心臓病によって低下した心機能や全身の機能を改善させ、社会生活に復帰し、心臓病の再発や新たな疾患の予防、生活の質（QOL）を改善することを目標とした包括的なプログラムです。

- スタッフ：循環器内科医、リハビリ専門医、看護師、理学療法士、作業療法士、栄養士、心理士
- 特徴
 - 1) 心肺運動負荷試験（CPX）に基づく個別化運動処方
 - 2) 多職種による包括的二次予防プログラム
 - 3) 復職支援を含む社会復帰支援体制

＜150日間の心臓リハビリテーション・プログラムフロー＞

① 導入・初期評価 (0～1ヶ月)		② 多職種による継続的介入とモニタリング (1～5ヶ月)		③ 最終評価と心リハプログラム卒業 (5ヶ月)	
多職種による包括的な 初期アセスメント	身体機能評価と 個別目標の確定	外来心リハでの 運動療法の実践	生活・食事指導 療養・就労両立支援	プログラム終了時の 最終身体能力評価	医師による総括と 心リハプログラムの卒業
 ・医師 (医学的管理、CPX予約) ・看護師 (問診、ハートノート指導)	 ・理学、作業療法士 (SPPB、握力、下肢筋力) ・心理士 (POMS) ・栄養士 (InBody・問診)	 ・有酸素運動と レジスタンストレーニングを 中心に適切な負荷で実施	 ・多職種による包括的介入 ・セルフモニタリングの支援 ・療養と就労の両立支援	 ・初回同様の身体機能評価 ・CPXによる運動耐容能評価	 ・運動耐容能や病状の 説明を受け、150日間の プログラムを完了する
開始				卒業	

■ 紹介方法

連絡先：医療連携室（☎ 03-3448-6192）

紹介状：「循環器内科」宛

予 約：「外来心臓リハビリテーション」の予約とお伝えください。

■ 循環器内科・心リハ初診枠

月曜日 10:30～、11:30～ 各1枠

火曜日 10:30～、11:00～ 各1枠

水曜日 10:00～、11:00～ 各1枠

計6枠/週

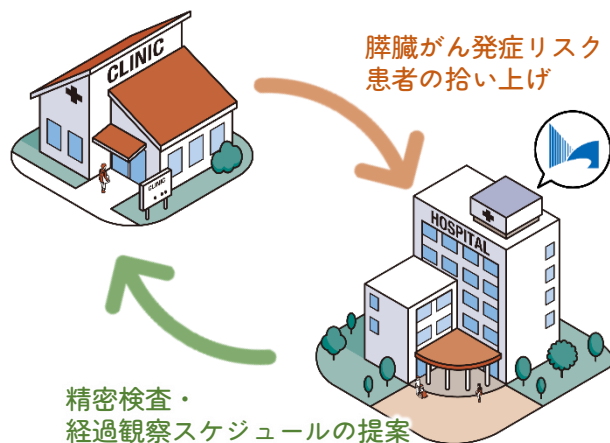
※2026年4月現在です。





地域の先生方との病診連携を通して、膵臓がんを疑うサインが発見された場合や、膵臓がん高リスクの方を対象に、定期的なフォローアップや必要時に迅速な精密検査を行って早期に診断を行うものです。

プロジェクトの特徴は、地域の先生方と連携して定期的な検査を行っていくことにあります。リスクに応じて当科で検査スケジュールを提案させていただき、共同して経過観察を行うことで早期発見・治療成績向上に役立てていきたいと考えております。診断後は、肝胆膵内科・外科・腫瘍内科で連携しながら治療を行っています。



膵臓がんの発症リスクと考えられる項目

症状（膵臓がん患者における症状の割合）	原因のはっきりしない腹痛（78-82%）／背部痛（48%）／食欲不振・早期飽満感（62%）／黄疸（56-80%）／体重減少（66-84%）
糖尿病	1年未満：5.38倍／1～4年：1.95倍／5～9年：1.49倍／10年以上：1.47倍 特に診断早期の方、急な増悪傾向を認める方
血液検査異常	膵酵素異常：アミラーゼ、リパーゼ、エラスターゼⅠ 膵腫瘍マーカー異常（2cm以下の膵臓がんにおける陽性率）： CA19-9（53.2%）、Dupan-2（37.2%）、Span-1（50.7%）、CEA
画像検査異常（膵臓がん罹患リスク）	膵のう胞（3倍）、膵石灰化（13.3倍）、膵管拡張、膵腫瘍、胆管拡張
患者背景（膵臓がん罹患リスク）	膵臓がんの家族歴（4.5-32倍）、慢性膵炎（13.3倍）、肥満（BMI30以上で1.71倍）、飲酒（1.22倍）、喫煙（1.68倍）

【主治医の先生へ】

毎日胆膵グループの医師が外来を行っています。上記のような膵臓がんリスクを有する方がいらっしゃいましたら、いつでも肝胆膵内科にご紹介ください。

人間ドック（膵臓関連）

その他の人間
ドックはこちら



● 膵臓・胆のう・胆管がんコース（1日）

膵管・胆道から発生するがんの診断に有用なMRI（MRCP）、腫瘍マーカーによるスクリーニングを含む

● マイクロアレイ検査コース（1日）

胃・大腸がん、胆道がん、膵臓がんについて判定できる血液検査を含む

● 2日コース②

上部内視鏡検査、胸部CT検査を標準検査として備えた全身的なスクリーニング、膵管・胆管の画像を撮影するMRI（MRCP）検査を含む

〔人間ドックに関するお申し込み・お問い合わせ〕

健康管理棟2階 人間ドック受付 TEL：03-3448-6275〔受付時間：平日 10:00～16:30〕



慢性腎臓病（CKD）とは、この定義に当てはまる人が現在2,000万人（5人に1人）いるといわれ、対策が重要です。なぜなら、CKDは透析導入のリスクだけでなく、心血管病発症のリスクであるからです。

病診連携によりCKD対策を行うことが、国を挙げて推進しています。品川区や城南地区においても、クリニックの先生方と腎臓内科がある総合病院の専門医で連携し、紹介・逆紹介のシステムの整備をしております。

当科においては、CKDの意味、原因精査、透析導入や脳血管・心血管疾患発症のリスク評価、治療方針の決定などを行っており、二人主治医体制を推進しています。

CKD診療ガイドのポイント

1. CKD の定義

下記のいずれかが 3 カ月以上持続する

- ① 腎障害の存在が明らか
蛋白尿(特に重視)、病理、画像診断、検査(検尿/血液)など
- ② GFR 60 mL/min/1.73 m² 未満

2. GFR の推算

日本人の GFR 推算式

$$eGFR \text{ (mL/min/1.73 m}^2\text{)} = 194 \times \text{Age}^{-0.287} \times \text{Scr}^{-1.094}$$

(女性は × 0.739)

原疾患	蛋白尿区分	A1	A2	A3
糖尿病	尿アルブミン定量 (mg/日) 尿アルブミン/Cr 比 (mg/gCr)	正常 30未満	微量アルブミン尿 30~299	顕性アルブミン尿 300以上
高血圧 腎炎 多発性嚢胞腎 移植腎 不明 その他	尿蛋白定量 (g/日) 尿蛋白/Cr 比 (g/gCr)	正常 0.15未満	軽度蛋白尿 0.15~0.49	高度蛋白尿 0.50以上
GFR 区分 (mL/min/ 1.73m ²)	G1 正常または高値	>90		
	G2 正常または軽度低下	60~89		
	G3a 軽度~中等度低下	45~59		
	G3b 中等度~高度低下	30~44		
	G4 高度低下	15~29		
	G5 末期腎不全 (ESKD)	<15		

重症度は原疾患・GFR区分・蛋白尿区分を合わせたステージにより評価する。CKDの重症度は死亡、末期腎不全、心血管死亡発症のリスクを緑のステージを基準に、黄、オレンジ、赤の順にステージが上昇するほどリスクは上昇する。

慢性腎臓病診療ガイド2024より

CKD患者診療依頼書

CKD 患者 診療 依頼 書

紹介先医療機関
NTT 東日本関東病院
所在地
医療機関名
TEL
医師氏名

高血圧・腎臓内科

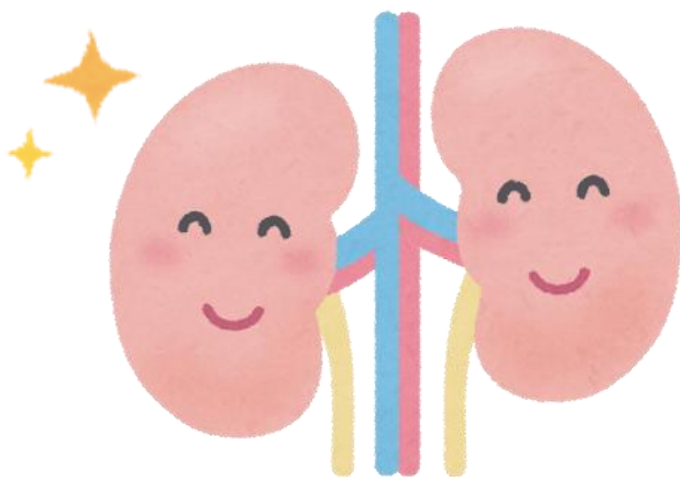
フリガナ	患者氏名	生年月日	年 月 日 (歳)	男・女
依頼内容 (複数選択可)	☐ 腎機能低下 (Cr 上昇、eGFR 低下など) の精査 ☐ 治療法について、処方内容の適否 ☐ 尿異常の精査 (□蛋白尿+血尿+ □蛋白尿2+以上 □血尿 □その他) ☐ 腎生検施行 ☐ 患者指導 (血圧管理等の重要性) □ 透析や腎移植の説明 ☐ 腎臓・尿路の画像診断 □ 自覚症状 (浮腫、高血圧症等) の改善 ☐ 栄養指導・服薬指導 □ CKD 治療 ☐ その他 ()			
紹介・診療後の希望	☐ 戻し ☐ 任せる ☐ 併診 ☐ その他 ()			

CKD 重症度分類

▼ ステージに○をお付けください ▼

原疾患	蛋白尿区分	A1	A2	A3
糖尿病	尿アルブミン定量 (mg/日) 尿アルブミン/Cr 比 (mg/gCr)	正常 30 未満	微量アルブミン尿 30~299	顕性アルブミン尿 300 以上
高血圧、腎炎 多発性嚢胞腎 移植腎、不明、その他	尿蛋白定量 (g/日) 尿蛋白/Cr 比 (g/gCr)	正常 0.15 未満	軽度蛋白尿 0.15~0.49	高度蛋白尿 0.50 以上
GFR 区分 (mL/min/ 1.73 mL)	G1 正常または高値	>90		
	G2 正常または軽度低下	60~89		
	G3a 軽度~中等度低下	45~59		
	G3b 中等度~高度低下	30~44		
	G4 高度低下	15~29		
	G5 末期腎不全 (ESKD)	<15		

CKD 診療ガイドライン 2023 より



【主治医の先生へ】

「CKD患者診療依頼書」をご用意しておりますので、ぜひご利用ください。

様式は、当院ホームページ（右上の二次元コード）よりダウンロードできます。

発達障害専門プログラム

詳細は
HPへ

当院では、発達障害の診断を受けている方、発達障害の傾向がある方を対象に、コミュニケーションプログラムを行っています（18歳以上の方を対象としています）。

プログラムの内容

プログラムは、3つの要素で構成されています。

- ①コミュニケーションプログラム：「会話を始める」「アサーション」など
- ②心理教育：「感情のコントロール」「ストレスについて」など
- ③ディスカッションプログラム：「相手への気遣い」「ピア・サポート」など

＊テキストを使いながら、職場や日常生活の困りごとや工夫していることを話し、コミュニケーションの練習や自分自身について深めます。

＊本プログラムは、昭和医科大学発達障害医療研究所で開発された発達障害の方向けの専門プログラム「大人の自閉症スペクトラムのためのコミュニケーション・トレーニング・マニュアル」に沿って進めております。

復職支援プログラム

詳細は
HPへ

うつ病・うつ状態などのために会社を休職中もしくは病休中で、今後職場復帰を目指している方を対象に、職場復帰援助プログラムを実施しております。

プログラムの目的

- ①生活リズムの改善 ②仕事に必要とされる基礎能力の改善 ③より円滑な対人交流の習得
- 併せて再発予防の心理教育的アプローチも行います。

	月	火	水	木
午前9:30~	パソコン	軽スポーツ 集団認知行動療法	グループ	パソコン

集団認知行動療法

- ①職場復帰のための集団認知行動療法・アサーショントレーニング
- ②就労継続のための集団認知行動療法・アサーショントレーニング

《発達障害専門プログラム・
復職支援プログラムに関するお問い合わせ》

精神科外来 TEL：03-3448-6321

〔受付時間：平日 8:30~17:00〕



糖尿病教育入院プログラム

詳細はHPへ



お近くの診療施設に通院されていて、短期集中的に教育・治療効果をあげたいという患者さんには、9泊10日の入院での教育プログラム（集団教室）をご利用いただけます。

当院での教育終了後は、かかりつけの先生のもとで外来通院を継続していただけます。

《教育入院プログラム表》 ●...オリエンテーション / ●...DVD学習 / ●...講義 / ●...記述(クイズ)

	午前	午後			午前	午後
1日目 (月)		14:00-14:30	14:30-15:30	6日目 (土)	10:00-10:30	14:00-14:30
	●	●	●		●	●
2日目 (火)	10:00-11:00			7日目 (日)	10:00-10:30	14:00-14:30
	●				●	●
3日目 (水)		14:45-15:15	15:15-16:15	8日目 (月)		15:00-16:00
		●	●			●
4日目 (木)	10:10-11:00	13:30-14:00		9日目 (火)	10:00-11:00	14:00-15:00
	●	●			●	●
5日目 (金)	11:15-12:00	週によって異なる		10日目 (水)		
	●	●			●	●

※その他、個別栄養指導・薬剤指導あり

リハビリテーションと退院支援

当院では、早いケースで入院当日からリハビリテーションの介入を始め、社会復帰・自宅退院を目指します。基本的にご自宅への退院を目指しますが、後遺症の程度や生活背景によっては、リハビリテーションをより集中して行う回復期リハビリテーション病院と連携しております。

東京城南脳卒中ネットワーク

- 運用開始 : 2016年7月
- 連携医療機関 (2026年4月時点)
 - 蒲田リハビリテーション病院 (大田区)
 - 五反田リハビリテーション病院 (品川区)
 - 原宿リハビリテーション病院 (渋谷区)
 - 初台リハビリテーション病院 (渋谷区)
 - 品川リハビリテーション病院 (品川区)
 - 桜十字白金リハビリテーション病院 (港区)
- 実績 : 85件 (2025年度)

東京城南整形外科ネットワーク

- 運用開始 : 2019年9月
- 連携医療機関 (2026年4月時点)
 - 東京都立広尾病院 (渋谷区)
 - 蒲田リハビリテーション病院 (大田区)
 - 五反田リハビリテーション病院 (品川区)
 - 原宿リハビリテーション病院 (渋谷区)
 - 品川リハビリテーション病院 (品川区)
- 実績 : 85件 (2025年度)

産科のご案内


 詳細は
HPへ


セミオープンシステム

セミオープンシステム（他院での妊婦健診）を希望の方は紹介状をご持参の上、妊娠33週（33週6日）までに一度当院を受診してください。34週以降の妊婦健診は、当院で受けていただくことになります。

無痛分娩

原則計画分娩となります。平日の日中のみ行います。
ご希望の方は、外来にて主治医とご相談ください。

入院について

■ LDR（Labor Delivery Recovery）

LDR室を3室完備。陣痛開始から出産まで同じ部屋でお過ごしいただけます。

■ 入院中のお部屋

差額室料なしの4床部屋、2床部屋、個室、特別個室までご用意がございます。
4床部屋にもシャワーやトイレがあり、Wi-Fi環境も整備しております。

◇個室だと...

手ぶらで入院できるようパジャマ、タオル類、ルームシューズや特別個室用アメニティなどをご用意しています。室内では、無料Wi-Fiや備え付けタブレット端末でdマガジンのご利用が可能です。40分程の顔〜デコルテマッサージのサービスもございます。

◇差額室料 ※妊娠中および出産後の方は非課税

特別個室	50,000円/日（非課税）
個室	25,000円/日（非課税）
2床部屋	10,000円/日（非課税）
4床部屋	差額料金なし



4床部屋をご利用の方は、
有料にて手ぶら入院セット
をご利用いただけます



■ 母子同室について

産後1日目より母児同室が可能となります。
同室時間内でも、ご希望があれば新生児室で赤ちゃんをお預かりいたします。

■ お祝膳・おやつ

出産後に、お祝い膳や選べるスイーツのサービスがあります。

Yummy



◇ 2,500円 / 事前予約制

仕事で病院に足を運ぶ時間がない方や、体調が優れない方、悪天候や感染症が流行する時期でも、ご自宅で安心してご参加いただけます。



産 後 ケ ア

産後も様々なサポートによりお母さまと赤ちゃん、ご家族が安心して過ごしていただける体制を整えております。

■ 産後ケア入院

◇ 日数によって料金が異なります

当院で分娩後に延泊される方、産院退院後の産後8週未満のママと赤ちゃん（当院以外で出産された方も可）が対象です。また、当院は品川区・大田区の助成利用が可能です。ひとりひとりのご希望やお悩みに合わせて、助産師が24時間サポートします。

* ニューボーンフォトスペース

産科病棟のデイルームにご用意がございます。

ナチュラルで温かみのあるインテリアと、やさしい花の世界観をイメージした柔らかなフォトブースを揃えた空間で、赤ちゃんのご家族の記念写真を撮影いただけます。

当院で出産されました赤ちゃんに関しましては、感染対策のため、ご退院日のご利用をお願いしております。



* ウェルネス体験

産後の疲れやストレスをやさしく癒すウェルネス体験も、デイルームでいつでもご利用いただけます。

リラックスしたい時や気分転換した時など、ご自身のペースでご活用いただけます。



当院の産科病棟にご入院の方（出産前後のご入院の方、産後ケアをご利用の方）は無料でご利用いただけます。

デイルームには、ウォーターサーバーのご用意もございます。

* 詳細は
こちら



■ 産後デイケア

◇ 7:45~17:00（延長：最長20:00まで） / 内容によって料金が異なります / 事前予約制

産後3か月（要相談）までのママと赤ちゃん（当院以外で出産された方も可）が対象です。赤ちゃんを預けてのんびり休みたい、美容室に行きたい、育児に自信をつけたいなど、ママのご希望に合うプランを選べます。

■ にっこりフォロー

◇ 30分：5,000円 / 事前予約制（入院中に病棟にてご予約ください）

産後2週間頃に行っている育児相談です。育児の不安や疑問などを助産師に個別でご相談いただけます。産科外来来院、または自宅にて電話・オンラインのいずれかを選べます。

■ 調乳指導

◇ 無料 / 事前予約制（入院中に病棟にてご予約ください）

産後入院中、栄養士さんと産後の母乳やミルクの相談ができるサービスです（お土産付き）。

■ 助産ケア

◇ 30分：5,000円・60分：10,000円 / 事前予約制

妊娠中~産後の生活や健康についてのお困りごとや、乳腺炎や卒乳の相談、ご家族やパートナーへの沐浴やミルクづくり指導など、幅広く助産師が専門的支援を行います。

精神神経科病棟

詳細は
HPへ

開放病棟50床の病棟です。治療のための入院、アセスメント（診断や治療方針の見直し）のための入院、休息入院、生活リズム立て直しのための入院などを行っております。

当病棟では、医師・看護師・公認心理師・精神保健福祉士・病棟薬剤師が在籍しており、多職種で共同して入院患者さんの治療にあたっております。作業療法や卓球、ストレッチなどの運動プログラムや、心理教室や回想法など、さまざまなプログラムを行っております。また、心理検査や心理カウンセリング、病状に応じて退院後の社会資源の調整も行っております。

※ 入院期間は最大3か月。長期の療養が必要な場合は、転院先や入所する施設をお探しいたします。

※ 2023年4月より、修正型電気けいれん療法を再開しました。

入院ご依頼の流れ

- ① 「かかりつけ医療機関」から【03-3448-6192（医療連携室）】にご連絡ください。
精神神経科・心療内科外来におつなぎいたします。
- ② 紹介状を【03-3448-6270（精神神経科・心療内科外来宛）】にFAXしてください。
- ③ 内容を確認後、受け入れ可否について数日以内にお電話でご連絡いたします。
- ④ 当院より患者さんに、当日の持ち物などについてのご案内のお電話をいたします。



患者さん向けのパンフレット

ご入用でしたら
医療連携室 (03-3448-6192)
までご連絡ください

▼ 個室 ▼



◀ 中庭 ▶



レディース病棟

患者さんのプライバシーに配慮したきめ細やかな看護を提供するとともに、女性疾患に関する専門性を有した看護スタッフを配置し、女性がより安心して療養できる環境をご提供いたします。

主な診療科

■ 婦人科 ■ 乳腺外科 ■ 外科 ■ 消化管内科

病床数：44床（個室:16床 / 2床部屋: 2床 / 4床部屋:24床 / HCU:2床）

特 徴

- プライバシーが確保された、ゆったりとした個室
- 夜景がきれいに見える2床室
- すべての部屋にトイレとシャワー室完備
- 明るい照明や、静音性とデザイン性を兼ね備えたカーペット廊下





現代の医学のレベルでは治療が困難とされたがん患者さんの、身体や心のつらさを和らげる治療やケアをおこなう専門病棟です。苦痛を和らげるための薬の調整や、看護ケアをはじめとし、総合病院の特徴を活かして、放射線治療や神経ブロック、リハビリテーションなども取り入れています。

入院の基準

＜以下の基準をご理解・同意の上、お申し込みください＞

- ☐ 患者さん自身が病状を理解し、今後はがんを治すための治療を行わずに、緩和ケア病棟でがんによる苦痛の緩和を行うことを希望していること
- ☐ 心肺蘇生処置（心臓マッサージや人工呼吸器装着など）や延命処置（昇圧剤の使用など）を希望していないこと
- ☐ 入院後、つらさが和らぎ病状が安定している場合は、療養場所（自宅退院や転院など）を相談させていただくこと
- ☐ 長期療養のみを目的とした入院には対応していないこと

申込方法

HPの「（4）緩和ケア病棟への申し込みについて」を必ずご一読いただき、必要書類がすべてそろいましたら、ご本人・ご家族・医療機関等から申し込みの事前連絡をしたうえで郵送をお願いいたします。

書類が届きましたら、登録審査を行い、紹介元医療機関に結果をご報告させていただきます。

すぐに入院が必要な場合は、病床が準備でき次第、紹介元医療機関にご連絡いたします。

すぐに入院する必要のない方は、入院が必要な時に紹介元医療機関を通じてご連絡をいただいています。

《事前申し込み受付》

がん相談支援センター TEL：03-3448-6280 〔受付時間：平日 9:00~17:00〕

《書類送付先》

〒141-8625 東京都品川区東五反田5-9-22 NTT東日本 関東病院 緩和ケア病棟 宛

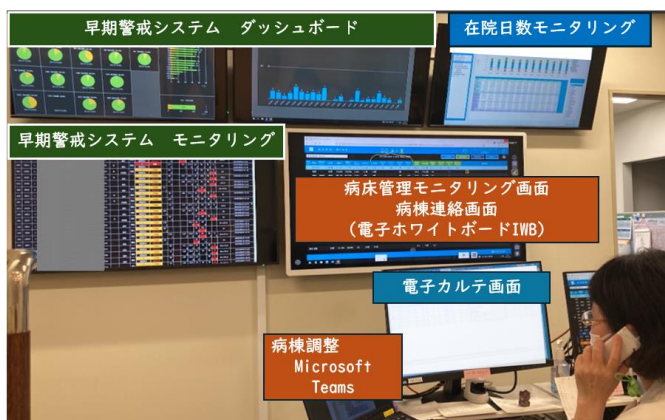
※ 封筒の表に「緩和ケア病棟申し込み」と記載してください。

※ 書留やレターパックなど、追跡可能な送付手段の利用をお勧めいたします。

ベッドコントロールセンター

ベッドコントロールセンターは、病床管理（予定入院・緊急入院の調整）、患者さんの状態変化の自動検知（早期警戒システム）、在院日数のモニタリングなど、複数の情報を統合して病床運用を最適化するセンターです。

※ 2026年1月14日、厚生労働省の上野大臣が、NTT東日本関東病院のデジタル技術を活用した「医療の効率化・質向上の取組」に関する視察のため来院されました。



※上野大臣に説明する村岡DX推進部長

病室のご案内

		税込室料 (1日あたり) (税込)	面積 (㎡)	テレビ	パジャマ タオル オムツ レンタル	アメニ ティ
特別病棟	特別個室	132,000円	63.5	○	○	○
		110,000円	40.2	○	○	○
		88,000円	29.0	○	○	○
		63,800円	29.0	○	○	○
		52,800円	21.7	○	○	○
		41,800円	20.0	○	○	○
一般病棟	個室	27,500円	19.7	○	○	×
	2床部屋 ※一部の病棟のみ	14,850円	39.8~	○	○	×
		11,000円	39.8~	○	○	×
	4床部屋	-	37.9~	有料	有料	×
産科病棟 ※妊娠中および 出産後の方は 非課税	個室	50,000円（非課税）	40.9	○	○	○
		25,000円（非課税）	19.7	○	○	○
	2床部屋	10,000円（非課税）	39.7	○	○	×
	4床部屋	-	39.6	有料	有料	×
精神科 病棟	個室	22,000円	19.0	○	○	×
	4床部屋	5,500円	38.2	○	○	×
緩和ケア 病棟	個室	27,500円	34.8	○	○	×
		22,000円	24.0~27.0	○	○	×

- ○は無料をご利用いただけます。
- Wi-Fiと冷蔵庫は、すべてのお部屋で無料をご利用いただけます。
- 有料病床は、入室された時間に関わらず1日（0:00~24:00）あたりの料金となります。
- アメニティはシャンプー、コンディショナー、ボディソープ、歯ブラシなどをご用意しております。
- 一般個室・特別個室にはお部屋に専用のトイレ・シャワーがついております。
- 特別個室のお食事は特別食を提供しております。
*病状や治療の内容、医師の指示により一般食や治療食になる場合がございます。
- 個室を希望される方は、事前に入退院受付へお伝えください。
ご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。



面会予約について

当院にご入院されている方の面会のご予約が可能です。

ご予約は
こちら



消化管内科

部長
大園 研

■ 概要

消化器疾患全般に対する内視鏡検査・治療を行っています。食道、胃、十二指腸、大腸の早期がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）の症例数は国内トップクラスです。十二指腸がんに対するESDは、関東圏だけでなく全国から多くの患者さんにお越しいただいています。他にも、小腸のカプセル・ダブルバルーン内視鏡検査も行っています。

■ 対象となる疾患

- 早期がん
（胃がん、食道がん、十二指腸がん、大腸がん）
- 胃ポリープ
- 大腸ポリープ
- 粘膜下腫瘍
- 消化管出血
（胃・十二指腸潰瘍、胃食道静脈瘤、大腸憩室出血など）

《予約時の注意点》

大園医師の初診外来の予約は、お取りしておりません。月曜午前に大園宛の紹介状をお持ちいただければ、お待ちさせることはありませんが、必ず当日診察いたします。

肝胆膵内科

部長
寺谷 卓馬

■ 概要

肝グループは、主に肝がん（原発・転移）に対するラジオ波焼灼療法やマイクロ波焼灼療法を実施しています。進行した肝がんに対しては薬物療法も導入しています。肝嚢胞、肝炎、NASHなど肝疾患全般の診断・治療も行っています。

胆膵グループは、診断・治療・化学療法に至るまで一貫して行い、レベルの高いチーム医療を実現しております。積極的に学会活動、臨床研究、論文公開を行い、他施設との交流からさらなるレベルアップを図っています。

（五反田膵癌連携プロジェクト：P9参照）

■ 特徴

- ① 転移性肝がんを含めた経皮的焼灼療法
- ② EUS-FNAを用いた迅速な診断
- ③ 緊急を要する胆のう炎や胆管炎治療

■ 対象となる疾患

肝臓がん（原発性肝がん、転移性肝がん）／肝腫瘍／肝嚢胞／ウイルス性肝炎／非アルコール性脂肪性／肝炎（NASH）／胆石症／急性胆嚢炎／胆嚢ポリープ／総胆管結石／胆管がん／胆嚢がん／十二指腸乳頭部がん／急性膵炎／慢性膵炎／自己免疫性膵炎／膵嚢胞／膵がん／神経内分泌腫瘍

循環器内科

部長
安東 治郎

■ 概要

当科は東京都CCUネットワーク加盟施設として、急性心筋梗塞や心不全等の心血管救急に対し24時間体制で応需しています。循環器疾患全般において、最新の知見に基づいた高度な専門医療を提供するとともに、心臓血管外科とのスムーズな協力体制を構築しています。ご紹介いただいた先生方との連携を大切に、急性期から慢性期管理まで、患者さまの状態に応じた適切な医療を迅速に提供できるように努めております。

■ 特徴

- ① 専門性の高いカテーテル診療：冠動脈疾患に対するインターベンション(PCI)や、不整脈に対するカテーテルアブレーションなど、低侵襲で質の高い治療を実施しております。
- ② 外科との円滑な協力体制：心臓血管外科と密に連携しており、内科的治療から外科的手術まで、症例に応じた柔軟な対応が可能です。
- ③ 多職種による心不全管理：医師、看護師、理学療法士、薬剤師、管理栄養士等がチームとなり、急性期治療から心臓リハビリ、生活指導まで包括的にサポートします。

■ 対象となる主な疾患

- ・ 虚血性心疾患(急性心筋梗塞、狭心症)
- ・ 不整脈(心房細動、頻脈性・徐脈性不整脈)
- ・ 弁膜症(大動脈弁狭窄症・閉鎖不全症、僧帽弁閉鎖不全症・狭窄症等)
- ・ 心不全(急性・慢性心不全、心筋症)
- ・ 大動脈疾患(大動脈解離、大動脈瘤)
- ・ 末梢血管疾患(閉塞性動脈硬化症、下肢静脈血栓症等)
- ・ 肺高血圧症・肺血栓塞栓症

《緊急の場合は…》

「循環器ホットライン」TEL：03-3448-6292〔24時間〕までご連絡ください。

心臓血管外科

部長
華山 直二

■ 概要

当科の特徴は、すでに手術療法の適応があると判断された患者さんが受診されることが多いということです。つまり、患者さん、そしてそのご家族はもちろんのこと、診断してくださった内科の先生方も私共のクライアントであります。私共は、すべての方が納得の上治療を受けていただくことを考え、治療を進めてまいります。

■ 対象となる疾患

- 心臓弁膜症（大動脈弁、僧帽弁、三尖弁の疾患）
- 冠動脈疾患（狭心症、心筋梗塞など）
- 大動脈疾患（大動脈瘤、大動脈解離）
- 末梢血管疾患（閉塞性動脈硬化症、動脈血栓塞栓症）

糖尿病・内分泌内科

部長
神田 周平

■ 概 要

糖尿病をはじめとする代謝疾患と、性腺を除く内分泌疾患全般の診療を行っています。

糖尿病診療においては、看護師・栄養士をはじめとした多職種によるチーム医療を中心とし、患者さんの生活に沿った療養生活を提案できるよう心がけています。

高度急性期病院である当院の特性に応えるべく、各診療科との院内連携も密接に行っております。

■ 対象となる疾患

- 糖尿病
- 甲状腺疾患
- 脂質異常症
- 内分泌疾患全般

《予約時の注意点》

かかりつけ医の先生からの紹介状をご準備ください。

高血圧・腎臓内科

部長
渋谷 祐子

■ 概 要

急性腎障害、慢性腎臓病、体液・電解質バランス、血液浄化療法全般、高血圧診療を行っています。腎臓とは、全身状態を反映する臓器で様々な病気と関連しているため、各科と連携して治療にあたることも多くあります。

たとえば、重症患者さんの集中治療室における急性腎障害あるいは腎障害患者のがん治療（Onco-Nephrology）などにも関わっています。このように当科は、救急医療、がん診療、予防医学のすべてにも関わっております。

■ 特 徴

慢性腎臓病病診連携について、積極的にかかりつけの先生と病診連携を行っています。（慢性腎臓病対策：P10参照）

〔内 容〕

慢性腎臓病についての説明、慢性腎臓病の原因検索、慢性腎臓病合併症検索、治療など

■ 対象となる疾患

急性腎障害／慢性腎臓病／腎臓代替療法（透析などの血液浄化療法）／原発性糸球体疾患（急性・慢性糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群）／全身性疾患による腎障害（糖尿病性腎臓病、膠原病、高血圧など）／高血圧症（本態性、二次性高血圧症）／体液・電解質異常

《予約時の注意点》

かかりつけの先生からの紹介状持参と、待ち時間短縮のため、前もっての受診予約をお願いいたします。

呼吸器内科

部長
白井 一裕

■ 概 要

感染性肺結核を除く、ほぼすべての呼吸器疾患の診療を行っています。外来では、気管支喘息・COPD（慢性閉塞性肺疾患）・肺がん・間質性肺炎・肺非結核性抗酸菌症・肺真菌症、入院では、肺がん・肺炎・間質性肺炎などの診療を行っています。呼吸器疾患に関連した検査としては、CT検査、MRI検査、気管支鏡検査、超音波ガイド下針生検、CTガイド下生検針生検（放射線科）、精密肺機能検査、呼気NO検査、呼吸抵抗検査（モストグラフ）などを行っています。当院の呼吸器内科は、ひとつの専門分野のみに特化するのではなく、呼吸器疾患全般に対して、幅広く標準的な診断・治療を行っています。

■ 対象となる疾患

- 肺がん
- 間質性肺炎
- 気管支喘息
- COPD（慢性閉塞性肺疾患）
- 肺炎
- 肺非結核性抗酸菌症・肺真菌症などの呼吸器感染症

呼吸器外科

部長
日野 春秋

■ 概 要

原発性肺がんや縦隔腫瘍などの手術治療を中心として診療を行っていますが、呼吸器内科と連携して集学的な治療を積極的に行っています。自然気胸、膿胸といった緊急で処置や手術が必要な患者さんの対応も行っています。昨今、高齢化に伴い併存症を有する肺がん患者さんも増加していて、胸腔鏡やロボット支援手術などの低侵襲手術を積極的に行うことで術後QOLの維持を図っています。

■ 特 徴

- ① ロボット手術の進歩：
Reduced port（1-2カ所の傷）で行う低侵襲ロボット手術
進行肺癌や高難易度の縦隔手術への応用
- ② 早期肺がんに対する気管支鏡下マーキングを用いた肺部分切除

■ 対象となる疾患

- 原発性肺がん、縦隔腫瘍、転移性肺腫瘍、気胸、膿胸などの外科的治療を要する胸部疾患
- 縦隔リンパ節腫脹、胸膜腫瘍、びまん性肺疾患などで外科的生検が必要な疾患

《予約時の注意点》

新患外来は水曜日の午後に行っています。月曜日、木曜日にも全日外来を行っていますので、初診紹介は可能です。

脳神経内科

部長
大久保 誠二



■ 概 要

脳神経内科は脳、脊髄、末梢神経、筋肉の病気を診療する内科です。脳卒中、てんかんなどの救急疾患、緩徐に進行する変性疾患、免疫疾患、発作性疾患、感染症、中毒など様々な疾患を診療します。神経疾患は治療法が少ない印象ですが、多くの疾患で新たな治療法が開発されています。

脳血管グループと脳神経グループがそれぞれ専門性を生かして診療しております。

■ 特 徴

＜脳血管グループ(旧脳血管内科)＞

- ① 一次脳卒中センター(PSC)コア施設として24時間365日体制でチーム医療
- ② 超急性期脳梗塞への迅速な血行再建治療(tPA静注治療法やカテーテルによる血栓回収療法)
- ③ 脳血管治療(脳・頸動脈狭窄、脳動脈瘤、硬膜動静脈瘻など)

＜脳神経グループ(旧脳神経内科)＞

- ① 神経難病を含めた神経症状の原因診断と日々進歩する新規治療薬の積極的な活用
- ② 神経救急疾患(てんかん、髄膜脳炎、ギラン・バレー症候群など)の診療
- ③ 多職種連携による在宅医療推進

■ 対象となる疾患

- 脳卒中(脳梗塞・脳出血)、一過性脳虚血発作、てんかん、髄膜脳炎などの神経救急疾患
- 脳・頸動脈狭窄、脳動脈瘤、脳動脈奇形、硬膜動静脈瘻
- 神経変性疾患(パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症、アルツハイマー型認知症など)
- 神経免疫疾患(多発性硬化症、視神経脊髄炎、ギラン・バレー症候群、慢性炎症性脱髄性ポリニューロパチー、重症筋無力症、多発筋炎・皮膚筋炎など)
- 筋力低下、歩行障害、言語障害、感覚障害、不随意運動、認知機能障害、頭痛、めまい、意識障害などの原因診断

外 科

部長
佐藤 彰一



■ 概 要

消化器悪性疾患をはじめとして、胆嚢結石症や鼠径ヘルニアなどの良性疾患や、急性腹症に対する手術まで、消化器・一般外科分野の手術を幅広く行っております。悪性疾患(がん)に対しては、根治性を確保しつつ、患者さんの身体的負担を最小限にとどめることにより早期回復を目指す低侵襲手術(ロボット手術・腹腔鏡手術)を積極的にこなしております。

■ 特 徴

- ① 専門性の追求と24時間の救急対応
- ② がんの根治性の追求と、可能な限りの低侵襲手術
- ③ 東京都医療連携手帳による逆紹介
- ④ 腹痛ホットラインによる地域医療連携の充実

■ 対象となる疾患

食道がん/胃がん/大腸がん/肝がん/膵がん/胆道がん/胆石症/腸閉塞/鼠径ヘルニア/肛門疾患/緊急手術を要する急性腹症(急性虫垂炎、消化管穿孔、絞扼性腸閉塞、急性胆嚢炎など)

脳神経外科

部長
井上 智弘



■ 概 要

ガンマナイフセンター・脳卒中センター・脳神経内科と連携し脳神経疾患の診療にあたっています。迅速かつ的確な診療を要する脳卒中などの神経救急から、高度な治療技術を要する未破裂脳動脈瘤、脳血管バイパス、脳腫瘍を専門に治療します。特に、難度の高い未破裂脳動脈瘤や脳腫瘍など、手術症例が近年増加傾向です。

(2025年手術総数: 446件)

■ 対象となる疾患

- 脳動脈瘤開頭クリッピング術
- 脳血管バイパス手術
- 頸部内頸動脈血栓内膜剥離術
- 開頭脳腫瘍摘出術
- 広範囲頭蓋底再建脳腫瘍摘出術
- 微小神経血管減圧術
- 開頭脳内血種除去術

泌尿器科

部長
中村 真樹



■ 概 要

腎腫瘍などの泌尿器科系悪性腫瘍、尿路結石などの尿路閉塞性疾患、過活動膀胱などの排尿機能関連疾患、膀胱炎などの尿路性器感染症、勃起障害などの男性生殖器疾患など、幅広い泌尿器科の疾患を扱っています。可能な限り臓器を温存し、また術後早期回復プログラムを導入して患者さんの早期回復を目指した治療を行っています。とくにロボット手術(前立腺がん、腎がん、腎盂尿管がん、膀胱がん)と腹腔鏡手術に重点をおいています。

■ 特 徴

- ① 低侵襲ロボット手術
- ② 術後早期回復プログラム
- ③ 腫瘍内科・緩和ケアチームとの連携

■ 対象となる疾患

腎細胞がん(腎がん) / 腎盂・尿管がん/膀胱がん/前立腺がん/副腎腫瘍/精巣腫瘍/陰茎がん/尿路結石/腎盂腎炎/膀胱炎/陰嚢水腫/前立腺肥大症/過活動膀胱/尿失禁/包茎

整形外科

部長
山田 高嗣

■ 概 要

整形外科は、運動器(骨・関節軟骨・椎間板・筋肉・靱帯・神経系など全身に存在する組織)の障害に対して、治療を行っています。当院にはほぼ全ての分野のエキスパートが揃っており、整形外科は主に「手外科」「脊椎・脊髄」「股関節」「膝関節」のチームに分かれ、高い専門性を持ちながら診療にあたっています。チーム間で、また「スポーツ整形外科」や「ペインクリニック科」とも密接な連携を取ることで、複数の運動器疾患を抱えていることの多い高齢の患者さんに対して、最適な治療選択を行うことが可能になっています。

■ 特 徴

- ① ほぼ全ての分野のエキスパートが揃い、密な連携を取っている
- ② 脊柱変形矯正手術などの大きな手術から内視鏡による低侵襲手術まで、全ての脊椎脊髄疾患に対する治療が可能
- ③ 最新のロボットが導入され、正確無比な人工関節手術が可能

■ 対象となる疾患

- 手外科全般(腱の異常/加齢による関節の変性/骨折の変形治療/末梢神経疾患など)
- 脊椎脊髄疾患全般(頸椎椎間板ヘルニア/頸椎症/靱帯骨化症/腰椎椎間板ヘルニア/腰部脊柱管狭窄症/脊柱変形/脊椎の外傷・感染・腫瘍など)
- 股関節疾患全般(変形性股関節症/大腿骨頭壊死症/大腿骨頭部骨折等)
- 膝関節疾患全般(変形性膝関節症/大腿骨内顆骨壊死等)

《予約時の注意点》

初診時には紹介状と画像のコピーを持参いただければ幸いです。

スポーツ整形外科

部長
武田 秀樹

■ 概 要

スポーツに伴って発症する障害・外傷を主に扱っています。これらの疾患に対し適切な診断・治療を行うためには、専門的な知識や経験が欠かせません。レクリエーションレベルからプロスポーツレベルまで、スポーツに関する障害・外傷を対象としております。手術のみならず、アスリートリハビリテーションもリハビリテーション科と連携し行っております。

■ 特 徴

- ① スポーツ外傷・障害に特化した診療科である
- ② 手術治療がメインだが、アスリートリハビリにも対応

■ 対象となる疾患

スポーツ外傷で頻度の高い膝前十字靱帯などの各種靱帯損傷/膝半月損傷/離断性骨軟骨炎/軟骨損傷(膝・肘など)/肩関節脱臼/肩腱板損傷など

《予約時の注意点》

前もってMRIなどの検査を行ってから紹介いただけるとありがたいです。

ペインクリニック科

部長
安部 洋一郎

■ 概 要

当科は、痛みの治療に特化した科として1976年より当院の前身の関東通信病院時代から存在しています。主に神経ブロックを診断、治療の核としておりますが、近年、痛みの経路全体の俯瞰しつつ治療戦略を立てることが多くなっております。痛みは生活習慣病の側面もあるため患者さんに痛みの原因を理解して頂くと同時に、治療に参加することの重要性もお話いたします。急性期の痛みと慢性期の痛みに対し、治療のゴールを明確にして治療方針を立てております。

■ 特 徴

- ① 最新の医療機器を用いた正確な神経ブロック
- ② 高齢者にやさしい、低侵襲手術
- ③ 神経ブロックを用いて内服薬の減量を目指しております
- ④ 痛み以外の自律神経系の改善治療

■ 対象となる疾患

椎間板ヘルニア/脊柱管狭窄症/帯状疱疹の急性期・慢性期の痛み/三叉神経痛などの全身のいたみのほか、顔面神経麻痺や多汗症/自律神経由来の諸症状 など

《予約時の注意点》

電話予約のほか、当院HPからも予約が取れますが、疾患によっては待ち時間が長くなってしまう場合がございます。今まで受診された病院からの紹介状が重要な情報になりますので、できる限り紹介状をお持ちください。

リハビリテーション科

部長
福田 明

■ 概 要

固有の入院ベッドは持たず、脳卒中センター、ICU、CCUを含めた超急性期から、各診療科と連携して診療にあたっています。スタッフは常勤医2名、セラピスト総勢40名あまりです。急性期病院という病院の機能上、治療期間はリハビリテーションも含めて限られていますので、各科医師、病棟看護師、ソーシャルワーカー、管理栄養士、薬剤師などとの多職種連携に力を入れて患者さんの早期退院、社会復帰を目指しています。

■ 特 徴

- ① スポーツ整形・リハビリの十分な経験、充実した機器
- ② 心臓リハビリテーションの十分な経験と充実した機器
- ③ がん患者さんへのすべての病期における積極的な介入

■ 対象となる疾患

脳血管疾患、肺炎や外科手術後の廃用症候群、整形外科・スポーツ整形外科の運動器疾患、がん、循環器、呼吸器などすべての疾患別リハビリテーションを行っております。

《予約時の注意点》

ご紹介いただく際は、事前にご連絡いただければ幸いです。

乳腺外科

部長
沢田 晃暢

■ 概要

2019年4月に乳腺外科を開設、2021年4月からは、ブレストセンターとして新たに場所も呼び名も変わり、再出発となりました。ブレストセンター内でマンモグラフィ検査とエコー検査が受けられることになり、患者さんの利便性が向上いたしました。

■ 特徴

- ① 検査のための移動が最小限となりました。
- ② 石灰化を指摘された場合も、検査できます。
- ③ 男性の乳腺疾患も診療しております。
- ④ 乳癌卵巣癌遺伝子症候群：
乳がんを指摘された方で、血縁者に乳がん、卵巣がん、膵臓がん、前立腺がんを発症された方を認める場合には、BRCA遺伝子を測定し診断します。遺伝子異常を持つ家族に対してもスクリーニングを行っております。

■ 対象となる疾患

メインの対象疾患は乳がんです。女性乳がんに限らず、男性乳がんも同様に診察治療を行います。さらに、手術適応の良性疾患（繊維腺腫や葉状腫瘍など）も扱います。

形成外科



■ 概要

身体に生じた組織の異常や変形、欠損、あるいは整容的な不満足に対して、あらゆる手法や特殊な技術を駆使し、機能のみならず形態的にもより正常に、より美しくすることによって、患者さんの生活の質"Quality of Life"の向上に貢献する、外科系の専門領域です。

■ 特徴

- ① 形成外科疾患全般に対して質の高い治療を提供することを目指しています。
- ② 乳房再建について、自家組織、人工物、脂肪注入などの自費診療も含めた多岐にわたる手術方法で治療しております。

■ 対象となる疾患

- 顔や手足などの瘢痕／瘢痕拘縮／肥厚性瘢痕
- 皮膚や軟部組織の腫瘍
(血管腫、血管奇形は扱っておりません)
- 眼瞼下垂／睫毛・眼瞼内反症
- 皮膚や軟部組織の腫瘍／がんの切除・再建
- 陥没乳頭
- 腋臭症手術
- 陥入爪手術 など

《予約時の注意点》

乳房再建ご希望の場合は、ブレストセンター内 乳房再建外来の予約をお願いいたします。

産婦人科

部長
塚崎 雄大

■ 概要

- ・婦人科領域では、婦人科腫瘍専門医が外来診療を担当し、必要にして十分 かつ できるだけ低侵襲な治療になるよう努めております。
- ・産科領域では安心・安全なお産を心がけており、昨今の妊婦さんのニーズにこたえるべく、2025年度より無痛分娩を導入しました（当面は経産婦さんのみ）。他にも、産後ケアをはじめとしたサービスの拡充を進めています。
- ・当院泌尿器科と連携しながら、骨盤臓器脱に対する外科的治療に取り組んでいます。

■ 特徴

- ・女性の患者さんが安心して療養できるよう『レディース病棟』を開設し、患者さんのプライバシーに配慮したきめ細やかな看護を提供しております。
- ・産科外来を全スタッフが助産師である産科専門病棟に併設し、入院時の緊張感を減らす工夫をしております。

■ 対象となる疾患

- 妊娠、分娩
- 子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんなどの悪性腫瘍
- 子宮筋腫や卵巣腫瘍などの良性疾患に対する低侵襲手術
- 子宮頸部異形成
- 骨盤臓器脱

《予約時の注意点》

待ち時間短縮の観点から予約制をとっておりますが、早めの受診が望ましい症例に関しては、医療連携室または外来に直接ご連絡ください。

小児科

部長
小林 朋佳

■ 概要

近年増加している子どものアレルギー疾患の治療や、不登校・神経発達症（発達障害）など、子どもの心と行動の問題に対するケアを中心に、お子さんを取り巻くさまざまな課題の解消に努めています。アレルギー、心理カウンセリング、てんかんなどの小児神経疾患、先天性の心臓病など、それぞれ の分野ごとに診療を行う体制も設けており、さまざまな子どもの病気を診られる体制を整えています。

■ 特徴

- ① 新生児・乳幼児期からの「切れ目のない健康管理」
- ② 子どもの体と心の複合的な問題に対するケア
- ③ ご家族に対する子育て支援や家族カウンセリング

■ 対象となる疾患

- 発熱・咳・倦怠感・頭痛などの症状を伴う小児急性疾患
- 食物アレルギーやアトピー性皮膚炎、気管支喘息などのアレルギー疾患
- 小児循環器疾患
- てんかんなどの小児神経疾患
- ことばや発達の遅れ、不登校や神経発達症（発達障害）など、子どもの心と行動の問題

《予約時の注意点》

完全予約制ですので、事前にご連絡ください。
患者さんからのご連絡は小児科外来までお願いいたします。
予約の受付時間は、平日8時半から16時半までとなります。

リウマチ膠原病科

部長
松下 匡史郎

■ 概 要

関節リウマチや全身性エリテマトーデスなどに代表される自己免疫性の多臓器疾患のほか、内科的な治療の対象となる筋骨格系疾患や結合組織疾患の診断治療を担当する診療科です。2019年9月に部長の津田が着任し開設され、4年目を迎えました。他科とも密接に連携を図りながら、生物学的製剤や分子標的薬による最新治療、新薬臨床試験などにも積極的に取り組んでいます。

■ 対象となる疾患

- 全身性エリテマトーデス
- 関節リウマチ
- シェーグレン症候群
- 脊椎関節炎
- 炎症性筋疾患
- 全身性硬化症
- 混合性結合組織病
- 血管炎症候群
- リウマチ性多発筋痛症
- 結晶性関節炎 など

耳鼻咽喉科・
頭頸部外科部長
中尾 一成

■ 概 要

当科では、あらゆる耳鼻咽喉科疾患を対象として診療を行っておりますが、その中で特に力を入れているのが頭頸部腫瘍の診断と治療です。予防医学とも連携して早期診断と治療の低侵襲化を図り、可能な限り音声機能や嚥下機能を温存することを目指します。その一環として2023年から経口的ロボット手術も導入しております。一方、進行がん症例に対しては再建手術や集学的治療を速やかに施行できる体制を整えています。地域の皆様にご満足いただけますようスタッフ一同、努力を重ねております。

■ 特 徴

- ① 経口的咽喉頭腫瘍切除
- ② 進行がんに対する再建手術やCRT
- ③ 分子標的治療やがんゲノム診療など最先端の治療
- ④ 最新のナビゲーションシステムを用いた安全な副鼻腔手術

■ 対象となる疾患

- 頭頸部腫瘍（悪性／良性）
- 慢性副鼻腔炎などの鼻副鼻腔疾患
- 慢性中耳炎・突発性難聴など耳疾患
- 扁桃炎など咽頭疾患
- 声帯ポリープなど喉頭疾患
- 睡眠時無呼吸症候群・顔面神経麻痺 など

《予約時の注意点》

午前中は月曜日から金曜日まで毎日、
午後は水曜日と金曜日に外来を行っております。

皮膚科

部長
出月 健夫

■ 概 要

当科は5人の常勤医体制で、アトピー性皮膚炎や乾癬、薬疹といった炎症性疾患、蜂窩織炎や带状疱疹といった一般的な入院を要する皮膚疾患のほか、皮膚腫瘍、下肢静脈瘤、皮膚潰瘍といった皮膚外科領域にも積極的に取り組んでいます。今後も病診連携に積極的に取り組み、地域の患者様に貢献できるよう、また患者様にやさしいよりよい医療を提供できるよう努力してまいります。

■ 特 徴

アトピー性皮膚炎や乾癬といった炎症性皮膚疾患の重症例では、生物学的製剤、JAK阻害薬といった最新の治療を導入しています。下肢静脈瘤は専門外来（火・木）で検査から治療まで一貫して行っており、皮膚腫瘍の手術も積極的に行っています。

■ 対象となる疾患

すべての皮膚疾患に対応するように心掛けています。

《予約時の注意点》

午後は予約制になります。

眼 科

部長
高本 光子

■ 概 要

近視や結膜炎などの一般的な疾患から、白内障手術、レーザー手術、硝子体手術などまで、さまざまな疾患の診療を扱っています。神経内科、脳外科、耳鼻科などの疾患と関連があるケースもあり、必要に応じてそれぞれの診療科と連携をとって診療にあたっています。

■ 対象となる疾患

- 屈折異常：近視／遠視／乱視／老視
- 外眼部疾患：結膜炎／霰粒腫／麦粒腫 など
- ドライアイ／白内障／緑内障／ぶどう膜炎
- 網膜硝子体疾患：糖尿病網膜症／加齢黄斑変性／網膜静脈分枝閉塞／黄斑上膜／黄斑円孔／網膜剥離 など

腫瘍内科

部長
倉持 英和



■ 概 要

悪性腫瘍の診断を受け、「抗がん薬治療」を主体とした治療を検討している患者さんを対象に診療を行っています。がん治療においては、多診療科・多職種での連携が必要です。腫瘍内科は単に抗がん剤を投与するだけでなく、そのチームをまとめる舵取りを行っています。

また、神経内分泌腫瘍に対しては2024年よりPRRT（ペプチド受容体放射性核種療法）を開始しています。今年からは前立腺癌に対するPSMA標的放射性核種療法（プルヴィクト®）を開始します。さらに、「がんゲノム検査(遺伝子パネル検査)」も行っていますので、ご希望の患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひご紹介をお願いいたします。

■ 特 徴

当院は地域がん診療連携拠点病院であり、またがんゲノム医療を提供するがんゲノム医療連携病院です。先進的な治療はもちろんのこと、がん相談支援センターを中心とした手厚い患者様への対応や専門スタッフを配した緩和ケア病棟など、がん治療に必要な設備、人材を整えて、チーム医療を実践しております。

■ 対象となる疾患

- 胃がん、大腸がんをはじめとした消化器がん
- 腎がん、前立腺がん、尿路上皮がん、胚細胞腫瘍などの泌尿器がん
- 乳がん
- 神経内分泌腫瘍
- 原発不明がん、悪性軟部腫瘍などその他の固形がん
- *がんゲノム検査（保険診療）

血液内科

部長
市川 幹



■ 概 要

急性白血病、慢性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの造血器悪性腫瘍や、真性多血症、本態性血小板血症、原発性骨髄線維症などの骨髄増殖性腫瘍、再生不良性貧血、発作性夜間ヘモグロビン尿症、骨髄異形成症候群などの骨髄不全症候群に対する集学的治療を行なっています。

■ 特 徴

治療が難しい血液疾患全般に向き合っており、特に指定難病や白血病については臨床研究グループに属して多くの臨床研究に参加し、診療科一丸となり高度な治療の実績を重ねています。さらに、標準治療に抵抗性となった難治性の造血器疾患患者さんのunmet medical needsを満たし、将来の医療の発展にも寄与する新薬開発の治験を多く行い、患者さんに還元できる治療の確立のために注力しています。

■ 対象となる疾患

- 造血器悪性腫瘍：急性白血病／慢性白血病／悪性リンパ腫／多発性骨髄腫
- 骨髄増殖性腫瘍：真性多血症／本態性血小板血症／骨髄線維症
- 骨髄不全症候群：再生不良性貧血／発作性夜間ヘモグロビン尿症（PNH）／骨髄異形成症候群
- その他：特発性血小板減少性紫斑病／自己免疫性溶血性貧血／寒冷凝集素病／各種貧血の診断と治療／特にPNHなどの希少疾患を多数例診療

《予約時の注意点》

予約は木曜日午前以外でお願いいたします。急性白血病などの緊急対応の必要な例は予約外でも可能な限り対応しますので直接ご連絡ご連絡ください。

精神神経科

部長
大路 友悖



■ 概 要

入院診療（開放病棟50床）、外来診療で精神疾患に対する診断、治療、社会復帰の支援を行っております。当科では心理士、作業療法士、精神保健福祉士、薬剤師が在籍しており、多職種共同で治療を行っております。入院患者、外来患者さんを対象とした心理検査や、入院患者を対象としたカウンセリングも行っております。

また、休職中の方を対象としたリワークや、発達障害でお悩みの方を対象としたコミュニケーション入門プログラム（全8回）など、社会復帰への支援の為に外来プログラムを行っています。

■ 対象となる疾患

- 気分障害
- 統合失調症
- 認知症
- 不安症 など

《予約時の注意点》

入院期間はおおむね3か月までの急性期病棟です。入院をご紹介いただく際は、事前にお電話でのご連絡と紹介状をFAXしていただくよう、お願いいたします。

心療内科

部長
大路 友悖



緩和ケア科

部長
倉持 英和



■ 概 要

がん（悪性腫瘍）によって生じる様々な苦痛（痛み・吐き気・息苦しさ・気持ちのつらさなど）を和らげ、患者さんがご本人らしく生きていただくための治療やケアを専門としています。

がん治療中は外来や一般病棟にて緩和ケアチームが主科と連携して、がん治療後は緩和ケア病棟にて緩和ケア医が主治医となり専門的な苦痛緩和を行っています。

■ 特 徴

- ① ペインクリニックを専門とするスタッフが複数名在籍
- ② 在宅療養を専門とするスタッフがスムーズな自宅療養をサポート
- ③ リハビリ・緩和的放射線照射・心理サポートチームとの連携

■ 対象となる疾患

主としてがん（悪性腫瘍）によって生じる苦痛の緩和を行っています。緩和ケアチームはがん以外の疾患の苦痛緩和にも対応しています。

《予約時の注意点》

2021年4月より感染症防止対策強化の一環として、対面式の初診外来に代わり、必要書類送付による入院登録審査を開始し、より迅速な入院支援を目指しています。詳しくは緩和ケア病棟ホームページをご覧ください。

救急科

部長
武部 元次郎

■ 概要

2018年より独立した診療科となり、二次救急医療機関である当院の入口の役割を担っています。救急科医師は救急センター専属であり、平日の8:30~17:00の時間帯に救急受診される患者さんの初期診療を担当しています。

■ 特徴

医学な緊急性の判断と応急対応が主にはなりますが、入院や専門的処置を必要とする場合には各専門診療科医師と連携して診療を行います。特に循環器疾患・脳卒中・急性腹症については専用のホットラインがあり、とりわけ緊急性が高い病状に対しては各専門診療科医師と密な協力体制で迅速かつ円滑な専門的治療につなげます。

■ 対象となる疾患

救急科では内科系外科系を問わず主に救急車で搬送される中等症以上の患者さんを担当しています。自力での受診が可能な患者さんは各科の専門外来での診療が原則となりますが、複数診療科に関わる問題がある場合や、事前に受診する診療科が決められない場合、トリアージで緊急性が高いと判断される場合は、救急センター救急科医師が初期診療を担当します。救急車で来院される中等症以上の紹介患者さんについても上記と同様です。専門的治療を要すると診断されている中等症以上の紹介患者さんについては各専門診療科医師が初期対応から行う場合もありますので、事前に医療連携室経由でご相談ください。集中治療が必要な重症患者さんについては、重症度や病床の問題で受けできない場合があります。なお、重症多発外傷、小児重症外傷、重症熱傷、薬物中毒、精神科救急には対応できかねますので、ご配慮をお願い申し上げます。

国際診療科

部長
佐々江 龍一郎

■ 概要

旅行者の急な傷病にも対応しています。

「質の高い総合診療」：

様々なニーズに対応するために、海外での医療経験豊富な総合診療医が対応いたします。

「安心して受けられる英語診療」：

国際診療科医師は英語が堪能、外国人患者さんも安心して医療を受けられます。言語的に難しい患者さんも対応が可能です。

「英語での診療サポート」：

予約から検査結果の受け取りまで、英語での電話およびメール対応が可能です。

■ 特徴

- ① バイリンガル医師による英語診療で患者さんは安心
- ② 総合診療小児から大人まで幅広い疾患に対応
- ③ 入院中における英語診療支援

■ 対象となる疾患

- 他の診療科と協力しながら「何でも相談できる」科です。
- 一般内科疾患全般／外科・整形外科疾患／精神疾患／皮膚疾患 など（6歳以上の小児も対象）
 - 上記診療科を問わず、旅行者の急な傷病にも対応

《予約時の注意点》

利便性向上のため、紹介時は外国人患者さんに紹介状をお渡しいただき患者さんから『nttihc-ml@east.ntt.co.jp』もしくは「03-6721-6239」に直接ご連絡いただければ対応可能です（全予約制）。

総合内科

部長
松下 匡史郎

■ 概要

主に原因のはっきりしない症状など、専門診療科による治療に迷う症例を対象としております。外来のゲートキーパーとして適宜各科と連携をしながら、それぞれの患者さんにとってより良い方向を見つけていくことを目標とします。

※2025年度以降、人員減少のため状態の悪い発熱などの入院が必要な患者さんをお受けすることができません。大変申し訳ございません。体制が整い次第、改めてご案内させていただきます。

■ 対象となる疾患

去年は様々な主訴の患者さんを紹介いただきました。原因がはっきりしない発熱、痛みなどの症状などを主に対象にしております。私自身は長く循環器診療に携わっておりましたので、生活習慣病の包括管理なども行っております。

《予約時の注意点》

初診の患者さんに関しては、問診や診察のみで30分以上の時間がかかることもあります。そのため、可能な限り事前にご予約をお取りいただけると助かります。

感染症内科

部長
櫻井 隆之

■ 概要

輸入感染症、性感染症、特殊感染症の外来・入院診療や、全科横断的なコンサルテーションを受ける診療科です。抗菌薬や感染症関連の検査など、院内で選択が難しい場合に、各診療科から相談を受けて、的確にアドバイスをすることを目指しています。

■ 特徴

HIV感染症や、デング熱などの輸入感染症の診断・治療が可能です。肺外結核の診療も行っています。院内で相談を受けた場合、可能な限り患者さんの病室に訪問して診察をしています。

■ 対象となる疾患

HIV感染症、デング熱、結核性リンパ節炎、梅毒、伝染性単核症などを診療しています。また抗菌薬全般に関するコンサルテーション、培養検査結核の解釈についてのコンサルテーションを引き受けています。

歯科口腔外科

部長
山城 正司



■ 概 要

口腔外科疾患を中心に、専門性の高い診療を行っています。
口腔がん治療は他科、多職種と連携して、再建手術や顎義歯など機能を重視した診療を行っています。また、院内患者さんの口腔機能の維持・管理に努めています。
口から食べることを支援し、誤嚥性肺炎などの口腔合併症を減らせるように取り組んでいます。なお、う蝕、歯周病、義歯などの一般歯科治療は行っていません。

■ 特 徴

- ① 専門性の高い口腔外科診療
- ② 機能を重視した口腔がん治療
- ③ 周術期の口腔機能管理

■ 対象となる疾患

口腔腫瘍（口腔がん、良性腫瘍）／口腔粘膜疾患（難治性口内炎など）／顎骨嚢胞／歯性感染症（智歯周囲炎など）／顎骨骨髓炎／唾液腺疾患（唾石症など）／顎関節症／外傷（顎骨骨折、歯の脱臼）／口腔内科疾患／高難易度・有病者の抜歯手術

《予約時の注意点》

初診予約は月、火、木、金の午前中となっていますが、緊急性の高い場合などは直接ご連絡ください。

放射線科



■ 概 要

診断部門では、放射線診断医がCT・MRI・核医学検査を主とした画像診断に専従しています。また、画像ガイド下生検・ドレナージ、肝動脈化学塞栓術などの画像下治療（IVR: interventional radiology）をIVR専門医を中心にを行っています。

治療部門では、放射線治療医ががんなどに対しリニアック（直線加速器）を用いた放射線治療を行っています。

■ 特 徴

- ① 画像診断：詳細な画像診断を通じて偶発的に発見された悪性腫瘍などについての「想定外報告」での医療安全への寄与
- ② IVR：緊急を含めた多種多様な依頼に迅速に対応
- ③ 放射線治療：最新の医学的根拠に基づいた丁寧な治療

■ 対象となる疾患

- 画像診断、IVR：全身の各種疾患
- 放射線治療：悪性腫瘍（肺、前立腺、乳、喉頭、咽頭、子宮、食道がんなど）
造血幹細胞移植前（白血病、リンパ腫）
一部の良性病変

《予約時の注意点》

CT、MRI、核医学、骨塩定量（DEXA法）は医療連携室を通して予約をお取りください。IVR、放射線治療については、原疾患に対応する当院診療科へまずご相談ください。

麻 酔 科

部長
小松 孝美



■ 概 要

当科は手術室麻酔管理を主に行っています。麻酔は大きく分けて、全身麻酔と区域麻酔に分かれます。区域麻酔は硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔、末梢神経ブロックがあります。全身麻酔に区域麻酔を組み合わせる麻酔もあります。手術室以外では麻酔科術前外来、術後の疼痛管理、周術期管理を行っています。外科系各科のみならず、内科系各科とも連携を取り、周術期の循環管理、呼吸管理を行っています。手術室だけではなく、集中治療室はじめ重症系ユニット、病棟でも活躍しています。

■ 対象となる疾患

手術の対象となる疾患の全てが対象となります。さらに患者さんが抱えている合併症も麻酔科医の取り扱う対象疾患となります。具体的には高血圧・不整脈・狭心症・心臓弁膜症などの循環器系疾患、喘息、肺気腫などの呼吸器系疾患、糖尿病などの内分泌・代謝疾患などがあります。また麻酔中に様々な薬を投与するため、薬や食べ物に対するアレルギーも対象となります。他にも鎮静や鎮痛が必要となる検査が必要となる疾患、循環・呼吸状態が不安で全身管理が必要な疾患にも対応しています。

集中治療科

部長
柏木 政憲



■ 概 要

術後患者、院内発症重症患者、重症救急患者などの患者さんを診療科を問わず収容し、集中的な治療・看護を行うことで早期の回復を目指す部門です。

■ 対象となる疾患

特定の疾患ではなく、患者の重症度に応じて、適応のある患者さんが収容されることになります。

病理診断科

部長
森川 鉄平



■ 概 要

当院で行われた全ての生検や手術検体の病理組織診断、細胞診断を行っています。また、他院から紹介された患者さんの病理標本の再診断や、パラフィンブロックを用いた免疫染色・遺伝子検査なども行っています。
当院での診療方針の決定にあたって、先生方のご施設で過去に生検・手術された病変の再検討が必要となる場合、病理標本の貸し出しをお願いすることがございますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

■ 特 徴

- ① ダブルチェック体制による確実な病理診断
- ② 国際規格（ISO 15189）による臨床検査室の認定
- ③ 各種バイオマーカー検査への対応

脳卒中センター

センター長
大久保 誠二

■ 概 要

死亡原因、要介護原因として上位である脳卒中の診断、内科的治療、カテーテル治療、外科的治療、リハビリテーション、発症・再発予防を行います。

脳神経外科、脳神経内科、リハビリテーション科、放射線科、看護部、医療連携室、総合相談室によるチーム医療により、質の高い診療をします。

脳神経外科と脳神経内科が協同し、24時間365日体制で脳卒中ホットラインを運営し、救急依頼を断らずに、緊急手術や緊急カテーテル治療に対応します。

■ 特 徴

- ① 一次脳卒中センター(PSC)コア施設として24時間365日体制で脳神経外科と脳神経内科を中心としたチーム医療
- ② くも膜下出血や脳出血に対する脳神経外科手術
- ③ 超急性期脳梗塞に対する迅速な血栓溶解療法や脳血管内治療
- ④ 脳卒中の原因診断と再発予防

■ 対象となる疾患

- 脳卒中（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）、一過性脳虚血発作
- 神経救急疾患
- 脳・頸動脈狭窄、もやもや病
- 脳動脈瘤、脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻

ガンマナイフセンター

センター長
赤羽 敦也

■ 概 要

定位放射線治療装置である「ガンマナイフ」による頭蓋内疾患の治療を行っています。ガンマナイフ治療は低侵襲で体力的な負担が少なく、照射誤差0.3mm以下という高い精度での治療が可能です。のべ7,000例を超える豊富な治療経験に基づいて、患者さんおひとりおひとりに最善の治療方法をご提案しています。

■ 特 徴

- ① 最新機器による高精度な定位放射線治療
- ② 脳神経外科、リハビリテーション科と連携しQOLを重視した治療戦略
- ③ 症候性の場合には、すみやかに治療に着手

■ 対象となる疾患（※いずれも健康保険が適用されます）

- 良性/悪性原発性脳腫瘍（聴神経腫瘍、髄膜腫、神経膠腫 など）
- 転移性脳腫瘍
- 脳動静脈奇形
- 硬膜動静脈瘻
- 三叉神経痛

《予約時の注意点》

特に症候性の場合には早急に対応させていただきますので、いつでもご一報ください。

人工関節センター

センター長
大嶋 浩文

■ 概 要

各関節の変性疾患、外傷、その他すべての疾患に専門医が高い水準で精査、治療を行っています。人工膝関節全置換術、人工股関節全置換術は、先端技術であるロボティックアーム支援手術（Mako System）にて行います。導入して4年になりますが、非常に良好な短期臨床成績、患者さん満足度が得られています。肩関節は、適応に応じて、リバーズ型人工肩関節全置換術を行い、良好な機能の再獲得が可能となりました。当院では、腱板損傷に対しては、関節鏡による修復術を優先しますが、広範囲腱板損傷や高齢者など修復が難しい症例は、積極的に人工関節を選択します。詳細は、ホームページをご参照ください。

■ 特 徴

- ① ロボティックアーム支援人工膝関節・股関節全置換術
- ② リバーズ型人工肩関節全置換術

■ 対象となる疾患

- 変形性膝関節症
- 変形性股関節症
- 変形性肩関節症
- 特発性大腿骨頭壊死症
- 肩関節腱板損傷

《予約時の注意点》

初診時から各関節専門医が診察いたしますので、紹介状をご持参の上、事前にご予約をお取りいただきますよう、患者さんにお伝えください。

脊椎内視鏡センター

センター長
大科 将人

■ 概 要

脊椎疾患の低侵襲手術に特化したセンターです。従来の脊椎・脊髄病センターの豊富な経験を活かし、内視鏡手術によってさらに安全で効果的な治療を提供しています。

■ 特 徴

- ① 低侵襲手術：
切開が小さく、周囲組織の損傷を最小限に抑えます
- ② 出血や感染のリスク低減：
体への負担を軽減し、安全性を向上
- ③ 神経症状の改善：
精密な手術により、症状の改善が期待できます
- ④ 早期退院・早期社会復帰：
術後の回復が早く、日常生活への復帰がスムーズ

■ 対象となる疾患

- 頸椎症性脊髄症
- 頸部神経根症
- 腰椎椎間板ヘルニア
- 腰部脊柱管狭窄症
- 腰椎すべり症

《予約時の注意点》

従来どおり、脊椎疾患の診察、検査、保存治療の希望の場合は整形外科への予約でも構いませんが、手術を含めた低侵襲治療まで考えている場合は、脊椎内視鏡センターへ予約することをお勧めします。

骨盤臓器脱センター

センター長
中村 真樹



■ 概 要

女性における膀胱瘤、直腸瘤、子宮脱などの骨盤臓器脱の患者さんに対し、保存的治療も含めて最適な治療を検討します。保存的治療の効果がみられない中等度から重症（ステージⅢ～Ⅳ）の方には、ロボット支援下仙骨腫固定術を行います。ロボット支援下仙骨腫固定術では腫の前後にメッシュと呼ばれる非吸収性の膜を縫い付け、このメッシュを頭側に引き上げて仙骨に縫い合わせて固定します。

■ 特 徴

ダ・ヴィンチという手術支援ロボットを使用し、精度の高い手術を行います。

■ 対象となる疾患

- 骨盤臓器脱（膀胱瘤、子宮脱、直腸瘤など）
- 特に保存的治療の効果がみられないもの

《予約時の注意点》

紹介先は「婦人科」「泌尿器科」どちらでもお受けいたします。両診療科で協議のうえ、骨盤臓器脱センターで最適な治療を検討させていただきます。

予防医学センター

センター長
井上 博睦



■ 概 要

当センターは、人間ドック・健診を統括する科です。電子システム、診療設備、診療体制が2006年4月に一新され、新たに予防医学センターが発足しました。予防医学センターは、NTT東日本 関東病院の各診療科と密接な連携をとっているため、人間ドックで重篤な疾患が発見された場合でも、速やかに関東病院にて精密検査・治療を受けていただく事が可能です。

■ 対象となる疾患

がん（胃、大腸、肺、食道、肝臓など）や生活習慣病（高血圧、高脂血症、糖尿病など）の重大な疾患を、早期に発見する事（二次予防）さらには未然に防ぐ事（一次予防）を使命としています。

手外科センター

センター長
大江 隆史



■ 概 要

当センターは、手や指・手首・肘に生じる痛み・しびれ・腫れ・変形・外傷・しこりなどを専門的に診療する手外科専門外来です。

手根管症候群や母指CM関節症、ばね指などのよくある手の疾患から、外傷・腫瘍・マイクロサージャリー（顕微鏡手術）が必要な高度治療まで幅広く対応します。

■ 特 徴

- ① 手外科専門医による専門的診断・治療
- ② 低侵襲・最先端治療の提供
- ③ 日帰り手術～短期入院まで柔軟に選択可能
- ④ 手術後のリハビリまで一体化したチーム医療

■ 対象となる疾患

- 神経疾患：手根管症候群/肘部管症候群/橈骨神経麻痺
- 腱・腱鞘の疾患：ばね指/ドケルバン病/ECU腱鞘炎/化膿性腱鞘炎
- 関節・変形疾患：母指CM関節症/ヘバーデン結節/ブシャール結節/関節リウマチ（手指・手首）
- 外傷・損傷：舟状骨骨折/TFCC損傷/指・手首の靱帯損傷/屈筋腱・伸筋腱断裂/変形治癒骨折（橈骨遠位端骨折など）
- 腫瘍・その他：ガングリオン/グロムス腫瘍/デュピュイトリン拘縮/粘液嚢腫

《予約時の注意点》

毎日、手外科専門医が外来を行っておりますので、お気軽にご紹介ください。



人間ドックのご案内

人間ドック・
健診施設機能
評価 認定詳細は
HPへ

● 当院の人間ドックの特徴

- 病院スタッフが最新の検査機器により検査を行いますので、精度の高い検査をお受けいただけます。
- 検査順序を個々で変更することにより、待ち時間を解消し効率的に検査をお受けいただけます。
- ドック専門医の診察による適切なアドバイスをお受けいただけます。
- 精密検査が必要と判断された場合は、紹介状を同封しておりますのでスムーズに病院受診が可能です。
- 人間ドックシステムは当院の電子カルテと連動しており、当院専門診療科からの閲覧が可能なため、スムーズに精密検査、治療を行うことができます。

● コースメニュー

＊ 1日コース

- **基本コース**
上部内視鏡検査、胸部CT検査、腹部超音波検査、便潜血検査が含まれています。
さらに男性ではPSA検査、女性ではマンモグラフィー及び婦人科検診が含まれているので、男性の前立腺がん、女性の乳がん・婦人科がんの早期発見にも有効です。
- **脳ドックコース**
基本的な血液検査や生理検査に加え、脳MR検査及び頸動脈超音波検査が含まれており、数々の脳疾患をスクリーニングすることを目的としたコースです。近親者に脳血管疾患が複数いる、高血圧、高脂血症、糖尿病、喫煙など動脈硬化のリスクを多く持っている方々にお勧めします。
- **大腸コース**
全大腸検査を行うことにより、便潜血が陽性にならないような早期の大腸がんの発見が可能です。近親者に大腸がんが複数いる、一度も大腸検査を受けた事がない、等の方々にお勧めします。
- **動脈硬化予防コース**
負荷心電図、血圧脈波、心エコー、頸動脈エコー等の検査を幅広く行う事により、心疾患や脳血管疾患の早期発見やリスク評価が可能です。
動脈硬化のリスクを多く持っている方々にお勧めします。
- **膵臓・胆のう・胆管がんコース**
通常の腹部超音波検査に加え、腹部MR検査及び腫瘍マーカー検査を行います。
これらの検査を組み合わせる事により、膵臓・胆のう・胆管がんの早期発見が可能になります。
近親者に膵臓疾患・胆のう疾患が複数いる、膵臓がんのリスクである糖尿病に罹患している等の方々にお勧めします。
- **マイクロアレイ検査コース**
がん細胞を攻撃する免疫細胞内の変化を最新の分子生物学的技術（マイクロアレイチップ）を用いて解析する事により、侵襲的な検査を受けなくてもこれらのがんの早期発見が可能です。

＊ 2日コース

- **全大腸内視鏡検査コース**
1日目に全身的に病気がないかを総合的に調べる基本コースに加え、負荷心電図、血圧脈波の検査を行います。2日目に全大腸内視鏡検査を行います。
- **膵臓・胆のう・胆管MRCP検査コース**
1日目に全身的に病気がないかを総合的に調べる基本コースに加え、負荷心電図、血圧脈波の検査を行います。2日目に膵臓・胆のう・胆管MRCP検査を行います。

料金一覧表

	1日コース		2日コース
	● 基本コース ● 脳ドックコース ● 大腸がんコース ● 動脈硬化予防コース ● 膵臓・胆のう・胆管がんコース	● マイクロアレイ検査コース	● 全大腸内視鏡検査コース ● 膵臓・胆のう・胆管MRCP検査コース
男性	85,250円	105,600円	138,050円
男性リピーター	76,725円	95,040円	124,245円
女性	94,600円	114,950円	163,900円
女性リピーター	85,140円	103,455円	147,510円

※その他、オプション検査も多数ご用意しております。

施設のご案内



《検査フロア》
広々としており、動線がはっきりしているため、スムーズかつ快適に受診できます。



《内視鏡センター》
2023年4月、健康管理棟3階に新設いたしました。



《64列ヘリカルCT》
新鋭の技術により、従来よりも最大80%少ない線量で撮影が可能です。



《マンモグラフィ》
女性の検査技師が担当いたします。

ご利用について

ご予約は、ご来院もしくは電話、HPの予約フォームにて承っております。
また、Webでの問診入力 および 結果閲覧を導入しておりますので、ぜひご利用ください。

[人間ドックに関するお申し込み・お問い合わせ]

健康管理棟2階 人間ドック受付 TEL：03-3448-6275 [受付時間：平日 10:00～16:30]

トップページ

詳細は
HPへ



TOPICS

当院のHOTな情報をタイムリーに更新しております。

例

TOPICS

2026.04.1 【NEW】手外科センター開設のお知らせ

この度、専門性を広く理解してもらうために「手外科センター」を開設しました。日本手外科学会認定手外科専門医3名が常勤として在籍し、手の機能回復と生活の質（QOL）の向上を目指します。当センターでは診断から手術、リハビリまでチームで支える医療を提供します。手の悩みでお困りの方は、是非一度ご相談ください。

連携ガイドブック（PDF版）

PDFデータをトップページに設置しておりますので、最新版をいつでもご確認ください。

登録医制度

詳細は
HPへ



登録医の主なメリット

- ・登録証を交付いたします。
- ・当院ホームページでご紹介させていただきます。
（顔写真や施設写真などの写真登録が、最大2枚まで可能です。）
- ・WEB紹介予約システム（e連携）をご利用いただけます。
- ・当院より広報誌や研修会・セミナー、メールマガジンなど、各種情報提供いたします。
- ・共同診療、図書館、研究室、駐車場などをご利用いただけます。
- ・かかりつけ医をお持ちでない患者さんに対して、登録医を優先してご紹介いたします。

登録内容の変更

登録内容の変更（住所変更・写真登録など）がある場合は、登録内容変更申請フォーム（WEB）もしくは 登録内容変更申請書（FAX）に必要事項を記入の上 お送りください。

連絡先一覧

詳細は
HPへ



医療連携室やホットラインなどの各連絡先を掲載しております。ぜひご活用ください。

例

各種ホットライン

ホットラインは医師が直接お電話口に出ます。
医療機関の先生方との専用ラインですので、患者さんには公表しないでください。

※患者さんから電話いただいても、ご対応いたしません。

脳卒中ホットライン TEL：03-3448-6599 24時間

循環器ホットライン TEL：03-3448-6292 24時間

大動脈ホットライン TEL：03-6721-6308 24時間

腹痛ホットライン TEL：03-3448-6012 平日9時～20時

救急センター

TEL：03-3448-6000

■受付時間

平日 17:00～8:30、休診日24時間

→ 詳細はこちら

勉強会・セミナー（医療従事者向け）

詳細は
HPへ



当院で開催している勉強会やセミナーについての情報を、随時更新しております。
申込方法は、各案内状に記載しておりますのでご覧ください。

例

開催日	申込締切日	勉強会・セミナー名	案内状
3月5日（木） 3月6日（金）	3月4日（水） 3月5日（木）	第10回看護お役立ちWEBセミナー	PDF
5月20日（水）	5月19日（火）	呼吸器内科／呼吸器外科セミナー	PDF

市民公開講座

2020年11月よりSTART！

詳細は
HPへ



当院は、市民公開講座を隔月開催しております。毎回多くの方にご参加いただいております。市民の皆様が知りたい「医療に関するのあんなこと・こんなこと」について、当院のスタッフがお話しします。
市民の方だけでなく、医療従事者の方にもご参加いただいておりますので、お気軽にご参加ください。

申し込み延べ人数は10,000名を突破！

過去最高！

申込人数：約400名



アクセス

五反田
gotanda



JR五反田駅から
徒歩 約7分

都営地下鉄浅草線
五反田駅から
徒歩 約5分



駐車場

- 利用料金：100円（税込）／15分
- 利用台数：150台
- 利用時間：24時間



シャトルバス

- JR五反田駅（東口） ↔ NTT東日本 関東病院
- 利用料金：無料
- 利用時間：平日 8時～17時45分





人と、地域と、“つながる医療”

NTT東日本関東病院

〒141-8625 東京都品川区東五反田5-9-22

TEL : 03-3448-6111 (代表)

03-3448-6192 (医療連携室)



K26-00005 (2604-2704)